
Moobius R メンテナンス

Kibi System

2024 年 06 月 25 日

目次

第 1 章	はじめに	1
第 2 章	メンテナンス	3
2.1	施工コード	4
2.2	資料本対応	5
2.3	経費工種	6
2.4	低入計算式	7
2.5	発注者	8
2.6	大工種	15
2.7	歩掛	16
2.8	計算	18
2.9	県別計算式	19
2.10	単価分類	22
2.11	単価	23
2.11.1	独自複写（独自単価複写）	24
2.11.2	単価金額編集（変動単価の打ち換え情報の編集）	27
2.12	外注業者	28
2.13	経費控除	32
2.14	総合評価パターン	33
2.15	労務割増方法	34
2.16	取り込み選択履歴（表紙）	38
2.17	ローカル解析履歴（内訳）	39
第 3 章	特殊処理内の項目	41
3.1	単価管理	42
3.1.1	削除（単価管理）	43
3.1.2	退避（単価管理）	45
3.1.3	復旧（単価管理）	47
3.2	年度移行処理	49
3.2.1	発注者関連	50
3.2.2	取込履歴	52
3.3	独自退避／復旧	53
3.3.1	退避（独自退避／復旧）	55
3.3.2	復旧（独自退避／復旧）	57
3.3.2.1	別県復旧を行う	59
3.3.3	初期化（独自退避／復旧）	60

3.4	データベース 最適化	62
3.5	工事情報 書き換え	63
第 4 章	各種設定内の項目	65
4.1	システム設定	66
4.2	県別単価 対応	68
4.3	単価増減 対応	69
4.4	数量基準まるめ 対象外設定	70
4.5	施工 P 条件 初期値	71
4.6	日当たり施工量 対応	72
4.7	亜熱帯補正	73
4.7.1	亜熱帯補正対象データの登録	75
4.7.2	亜熱帯補正対象データの削除	77
4.7.3	補正条件の設定	79
4.8	雑品計上 対象外設定	82
索引		83

第 1 章

はじめに

メインメニューのメンテナンスタブ内には、メンテナンス・特殊処理・各種設定の項目が表示されます。変更したい項目をクリックし、設定等を行います。

注釈：工事情報入力画面の設定項目を全て表示するためには、画面上部にある全ての項目を表示にチェックを付けてください。



各設定項目の詳細については、下記の各項目を参照ください。

第2章

メンテナンス

メンテナンス 内には、工事作成時に必要となる諸データを設定する項目があります。

積算システム MOOBIUS R

MOOBIUS R
Ver 2.07.000

吉備システム株式会社
担当者

トップ **メンテナンス** 異別設定 環境設定 サポート バージョン マニュアル

■ メンテナンス

- 施工コード
- 資料本 対応
- 経費工程
- 低入 計算式
- 発注者
- 大工種
- 歩 掛
- 計 算
- 単価分類
- 単 価
- 外注業者
- 経費控除
- 総合評価 パターン
- 労務割増 方法
- 取り込み選択履歴 (表紙)
- ローカル解析履歴 (内訳)

■ 特殊処理

- 単価管理
- 年度移行処理
- 独自 退避/復旧
- データベース 最適化

■ 各種設定

- システム設定
- 異別単価 対応
- 単価増減 対応
- 数量基準丸め 対象外設定
- 施工 P 条件 初期値
- 日当たり施工量 対応
- 亜熱帯 補正
- 雑品計上 対象外設定

『配信情報チェッカー』を表示する
 起動時に常駐確認

2.1 施工コード

施工コードで歩掛を選択する場合に必要な施工分類・施工コードを設定できます。また、該当施工コードに対する施工条件表のページを設定することで、施工条件表とシステムの連動が可能です。

注釈： 該当する県・積算体系において、施工コードが未登録の場合は、施工コードによる歩掛選択や施工条件表との連動はできません。

注釈： 施工コードによる歩掛選択については、土木積算・システム設定ドキュメント内の [歩掛選択時に施工コードから歩掛選択をする](#) を参照ください。

注釈： 施工条件表については、土木積算・工事情報設定ドキュメント内の [施工条件表](#) を参照ください。

施工コードメンテナンス

終了 ESC 年度 F2 積算体系 F3 県 F4 F5 F6 削除 F7 F8 F9 F10 選択 F11 F12

施工分類

令和 3年度 / 公共土木 / 東京都 23区

施工分類コード:

施工コード:

歩掛範囲の開始: - -

歩掛範囲の終了: - -

条件表頁:

歩掛範囲の開始	歩掛範囲の終了	条件表頁

施工分類コードを入力してください。[入力範囲]1~999

2.2 資料本対応

積算入力時の歩掛選択方法を 資料本 にした際の、分類・対応コードを設定できます。

注釈： 通常、ユーザーが設定する必要はありません。

資料本対応メンテナンス

終了 ESC 年度 F2 積算体系 F3 県 F4 個別表示 F5 大分類 F6 中分類 F7 対応 F8 選択 F11 削除 F12

令和3年度 / 公共土木 / 東京都 23区

大分類:

中分類:

SeqNo:

開始

工種:

種別:

細別:

終了

工種:

種別:

細別:

確定 キャンセル

大分類コードを入力してください。
【入力範囲】提供：001～699、独自：700～998

2.3 経費工種

経費工種メンテナンス 画面が表示され、経費工種に関する設定を行います。

注釈: 通常、ユーザーが設定する必要はありません。

注釈: 経費工種については、土木積算・工事情報設定ドキュメント内の [経費工種 \(必須\)](#) を参照ください。

経費工種メンテナンス

終了 ESC F2 経費年度 F3 積算体系 F4 県 F5 完了 F6 経費種別 F7 削除 F8 F9 複写 F10 選択 F11 F12

経費記号 集計控除 経費パターン 経費条件 計算式 システム種別

令和 3年度 / 公共土木 / 東京都

経費工種 基本設定

経費工種コード:

経費工種名称:

経費工種表示No.:

経費工種パターンNo.:

経費工種区分:

経費工種内容:

条件パターンNo.:

集計控除額パターンNo.:

経費ベースパターン:

対象額 費目明細入力

経費工種コードを入力してください。
【入力範囲】 提供: 0001 ~ 0699、 独自: 0700 ~ 9999

2.4 低入計算式

経費年度・積算体系・県ごとに低入計算式を設定できます。

注釈: 通常、ユーザーが設定する必要はありません。

注釈: 低入計算式については、土木積算・経費計算ドキュメント内の [低入調査](#) を参照ください。

低入計算式メンテナンス
ESC F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

低入記号 低入パターン

令和 3年度 / 公共土木 / 東京都

計算式コード設定

計算式コード: 国交省 低入札価格調査 (特別重点調査)

選択画面に表示しない

計算式 明細設定

行No	記号コード	演算子	条件区分	計算式	計算単位	計算結果	調査記号コード	移 [^]
▶ 1	C0100	=	代入式	A0100*0.9	1円	切り捨て		
2	C2400	=	代入式	A2400*0.8	1円	切り捨て		
3	C2500	=	代入式	A2500*0.8	1円	切り捨て		
4	C2700	=	代入式	A2700*0.8	1円	切り捨て		
5	C2800	=	代入式	A2800*0.8	1円	切り捨て		
6	C2900	=	代入式	A2900*0.8	1円	切り捨て		
7	C3000	=	代入式	A3000*0.8	1円	切り捨て		
8	C3200	=	代入式	A3200*0.8	1円	切り捨て		
9	C3300	=	代入式	A3300*0.8	1円	切り捨て		
10	C3600	=	代入式	A3600*0.8	1円	切り捨て		
11	C3500	=	代入式	A3500*0.8	1円	切り捨て		
12	C3700	=	代入式	A3700*0.8	1円	切り捨て		
13	C4100	=	代入式	A4100*0.8	1円	切り捨て		

更新
キャンセル

2.5 発注者

工事ごとに設定する発注者情報を設定できます。

発注者情報を新規に登録したり編集する場合は、最初に発注者メンテナンス画面から画面上部の年度・積算体系・県をクリックし、それぞれ表示される設定画面で該当項目を設定してください。画面上部の選択をクリックすると、設定した年度・積算体系・県の既存の発注者コード一覧画面が表示されます。

既存の発注者情報を編集する場合は、発注者コード一覧画面から該当項目を選ぶか、発注者コード欄に該当コードを入力後、**Enter** キーを押してください。登録内容が各設定欄に反映表示されます。

新規に発注者登録する場合は、発注者コード欄に新規コード番号を入力後、**Enter** キーを押してください。設定した発注者コードに対し、各項目を設定したら、画面左下の**確定**をクリックしてください。

注釈：メーカー・ユーザー・弊社により、発注者コードの範囲を割り当てています。ユーザーが独自に発注者を登録する場合は、発注者コードとして6～699を使用してください。範囲外に登録していた場合、データの更新により情報が上書きされることがあります。

注釈：発注者については、土木積算基本操作内の発注者または、建築積算基本操作内の発注者を参照ください。

注釈：新年度歩掛データ追加後の初回起動時には、過去年度歩掛の発注者データを新年度歩掛の発注者データに反映するか、選択画面が表示されます。詳しくは、土木積算基本操作内の起動～新規工事作成または、建築積算基本操作内の起動から新規工事作成までを参照ください。

年度・積算体系・県を設定

既存発注者一覧

コード番号直接入力

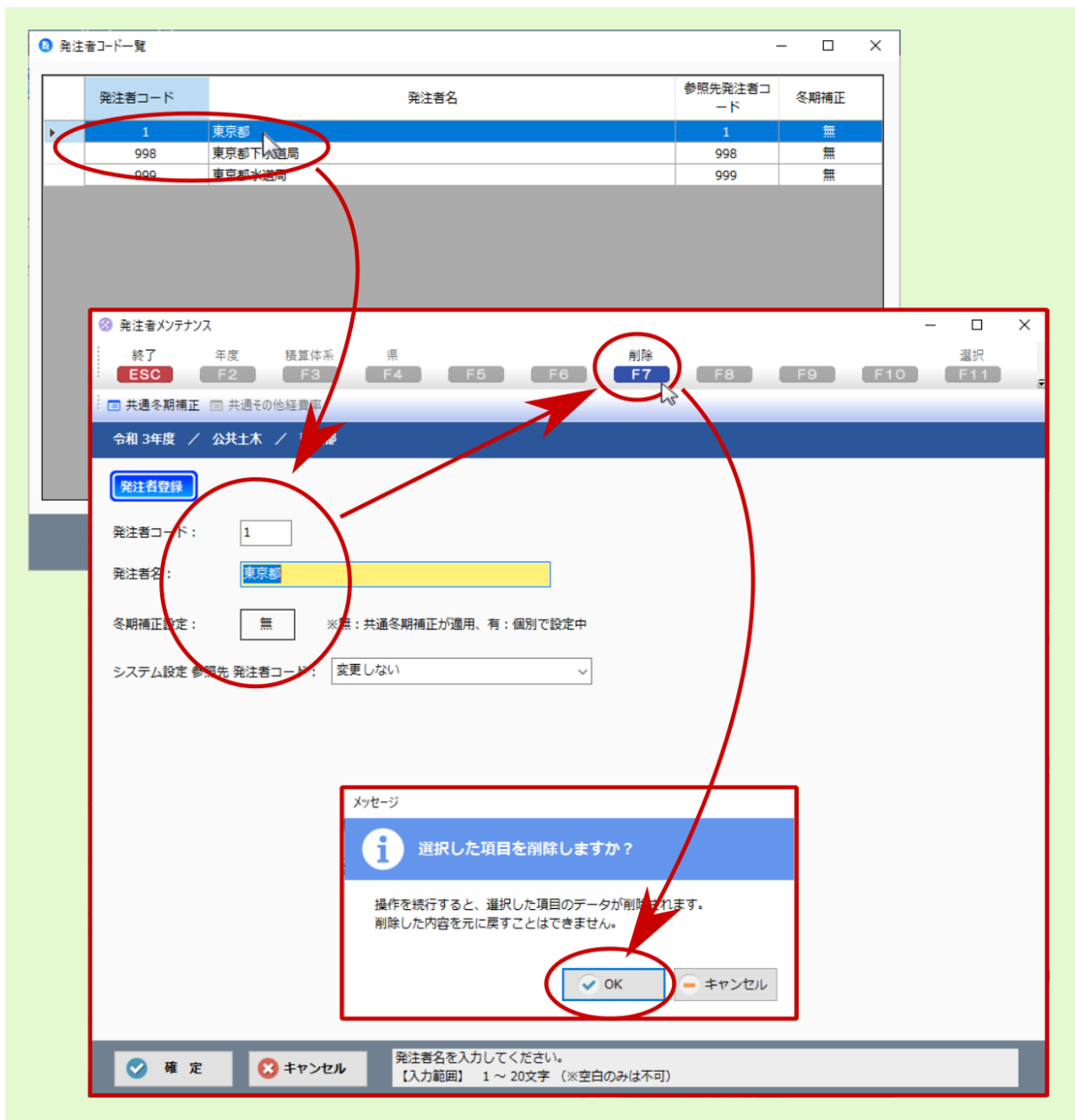
発注者コード	発注者名	優先発注者コード	冬期補正
1	東京都	1	無
998	東京都下水道局	998	無
999	東京都水道局	999	無

編集する発注者を選択

一覧より選択した発注者の設定が各設定項目に反映

**各項目設定後
画面左下「確定」で
新規追加 既存情報編集**

登録した発注者を削除する場合は、発注者コード一覧画面から該当項目を選択するか、発注者コード欄に該当コードを入力後、画面上部の削除をクリックしてください。



各発注者毎に冬期補正を設定する場合は、冬季補正設定の表示欄の無/有をクリックしてください。
設定した年度・積算体系・県で登録している全ての発注者情報に対して冬期補正設定を反映させる場合は、画面上部の共通冬期補正をクリックしてください。

冬期補正係数設定画面が表示されますので、冬期補正係数を編集後、確定をクリックしてください。

注釈: 設定を解除する場合は、画面上部の設定解除をクリックしてください。

発注者メンテナンス画面に戻ったら、確定をクリックしてください。

注釈: 冬期補正については、システム設定ドキュメント内の冬期野外工事をする/補正係数(1+補正率)を入力を入力を参照ください。

設定中の「年度・積算体系・県」で登録している既存発注者全て
 に対して冬期補正設定を反映させる場合。「共通冬期補正」をクリック

発注者毎の補正設定は
 冬期補正設定表示欄の
 「無／有」をクリック

工期始	工期末11月	工期末12月	工期末1月	工期末2月	工期末3月
10月	1.01	1.00	1.00	1.00	1.00
11月	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
12月		1.00	1.00	1.00	1.00
1月			1.00	1.00	1.00
2月				1.00	1.00
3月					1.00

冬期補正係数設定画面
 が表示されるので
 適宜編集後「確定」をクリック

発注者メンテナンス画面で
 「確定」をクリック

積算体系が 公共建築 / 建築地整 の場合は、法定福利費補正 / その他経費率設定 も設定できます。

積算体系が
公共建築 / 建築地整の場合
その他経費率設定が表示される

コード	名称1	名称2	平均	下限	上限
1011	仮設	(国交省)	0.25	0.20	0.30
1021	土工	(国交省)	0.25	0.20	0.30
1031	地業	(国交省)	0.25	0.20	0.30
1041	鉄筋	(国交省)	0.25	0.20	0.30
1051	コンクリート	(国交省)	0.25	0.20	0.30
1061	型枠	(国交省)	0.22	0.18	0.26
1071	鉄骨	(国交省)	0.25	0.20	0.30
1081	既製コンクリート	(国交省)	0.19	0.15	0.23
1091	防水	(国交省)	0.19	0.15	0.23
1101	石	(国交省)	0.20	0.16	0.24
1111	タイル	(国交省)	0.20	0.16	0.24
1121	木工	(国交省)	0.25	0.20	0.30
1131	屋根及びとい	(国交省)	0.19	0.15	0.23
1151	金属	(国交省)	0.20	0.16	0.24
1161	左官	(国交省)	0.23	0.19	0.27
1171	建具	(国交省)建具取付 (国交省)建具取付	0.20	0.16	0.24
1181	建具	(国交省)ガラス	0.19	0.15	0.23
1191	塗装	(国交省)	0.23	0.18	0.26
1201	内外装	(国交省)	0.19	0.15	0.23
1211	仕上ユニット	(国交省)	0.25	0.20	0.30
1216	排水	(国交省)	0.22	0.18	0.26
1221	構内舗装	(国交省)	0.22	0.18	0.26
1231	植栽	(国交省)樹木費以外	0.22	0.18	0.26
1241	植栽	(国交省)樹木費	0.15	0.13	0.18

その他経費率設定を入力してください。
【入力範囲】 0.00 ~ 9.99

画面上部右端のボタン 印刷 (F 1 2) をクリックすると、設定してある 歩掛年度 / 積算体系 に基づく発注者情報を出力できます。

あらかじめ歩掛年度/積算体系を設定後「印刷」クリック

県コード設定後「確定」クリック

印刷

県出力範囲

県コード: 15 ~ 20

確定 キャンセル

プレビュー【令和3年度公共土木発注者一覧】

保存 印刷 前ページ 次ページ 1/5 全体の表示

発注者一覧

令和3年度 公共土木

2022-10-28

県名称	発注者コード	発注者名称	冬期補正	参照先コード
15 新潟県	749	新潟県	有	1
	750	上越市カス水道局	有	749
	750	新潟県 新潟県 新潟県 (自治体) (林業)	有	750
	751	新潟県 新潟県 新潟県 (自治体) (林業)	有	751
16 富山県				1
17 石川県				1
18 福井県				1
19 山梨県				1
20 長野県				1

印刷・保存

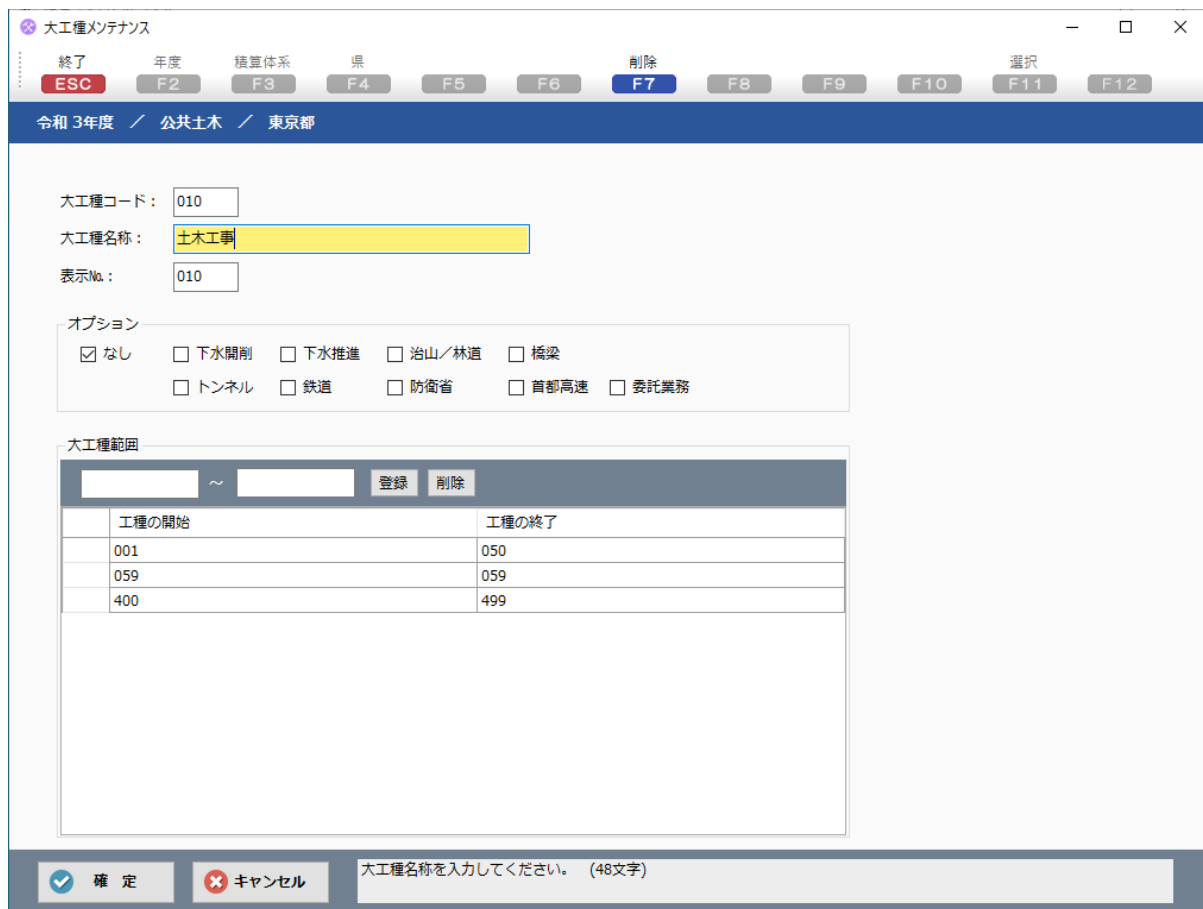
設定に基づき発注者情報のプレビュー画面表示

2.6 大工種

大工種メンテナンス画面が表示され、大工種に関する設定を行います。

工事作成時に任意設定項目である **大工種** を設定した場合、歩掛選択時に表示される工種一覧が、指定した大工種に関連付けられたものに絞り込まれます。

注釈：通常、ユーザーが設定する必要はありません。



大工種メンテナンス

終了 ESC 年度 F2 積算体系 F3 県 F4 F5 F6 削除 F7 F8 F9 F10 F11 F12 選択

令和 3年度 / 公共土木 / 東京都

大工種コード: 010

大工種名称: 土木工事

表示No.: 010

オプション

なし 下水開削 下水推進 治山/林道 橋梁

トンネル 鉄道 防衛省 首都高速 委託業務

大工種範囲

工種の開始	工種の終了
001	050
059	059
400	499

確定 キャンセル 大工種名称を入力してください。(48文字)

2.7 歩掛

歩掛年度 / 積算体系 / 県 ごとの歩掛を設定します。

注釈: 通常、ユーザーが設定する必要はありません。

歩掛メンテナンス

終了 ESC 年度 F2 積算体系 F3 県 F4 通用単価 F5 複写 F6 削除 F7 F8 F9 F10 F11 選択 F12

令和 3年度 / 公共土木 / 東京都 23区 / 令和 3年12月01日

工程 種別 細別

細別

工程コード: 003
種別コード: 001
細別コード: 001

歩掛 細別構成

基本項目

細別名称: 粘性土、砂・砂質土、レキ質土
歩掛区分: 一般
歩掛特殊区分: なし
リンク情報 種別: 歩掛コード
リンク情報 コード:
パターン番号: 0
係数フラグ: 0
工程印刷名称: 人力切崩し
種別印刷名称:
細別印刷名称: 粘性土、砂・砂質土、レキ質土

標準施工量: 0.0000
施工日数対応記号:
水替区分: 無し
諸雑費区分: 有り
雑材料区分: 無し
独自出典根拠 1:
独自出典根拠 2:
検索名称: 人力土工人力切崩し土工 人力切崩し人力土工 (土砂) 粘性土、砂・砂質土、レキ質土

更新 キャンセル

細別名称を入力してください。
【入力範囲】 60文字以内

登録する歩掛の構成要素に特定の単価世代のみで登録されている単価が含まれている場合は、該当単価を選ぶために、単価の適用年月も設定してください。

注釈：歩掛自体は 歩掛年度 / 積算体系 / 県 毎に登録されており、単価の適用年月 毎に登録されているわけではありません。

メンテナンス

Moobius R Ver 2.07.000

吉備システム株式会社 担当者

メンテナンス 個別設定 環境設定 サポート バージョン マニュアル

施工コード 資材本対応 経費工程 低入計算式

発注者 大工程 歩掛 計算

歩掛メンテナンス

終了 ESC 年度 F2 積算体系 F3 県 F4 適用単価 F5 複写 F6 削除 F8 F9 F10 F11 F12 選択

令和 3年度 / 公共土木 / 東京都 2 3 区 / 令和 3年09月01日

適用単価

適用単価を選択してください

令和 3年12月01日
令和 3年09月01日
令和 3年08月01日
令和 3年07月01日

歩掛に含める独自単価が登録されている適用年月を選択

OK キャンセル

歩掛メンテナンス

令和 3年度 / 公共土木 / 東京都 2 3 区 / 令和 3年12月01日

設定した単価世代に登録されている独自単価を登録する歩掛の構成要素として選択

入力形式	コード	名称	数量	単位	強制行採用	数量	計算利用No.	数量	計算方法	単価
単価	Z000003		0		通常	0				
歩掛			0		通常	0				

2.8 計算

歩掛年度・積算体系・県ごとの計算式を設定します。

注釈：通常、ユーザーが設定する必要はありません。

2.9 県別計算式

該当 計算コード に対して、 県別計算式 を設定します。

計算式マスターメンテナンス画面上部の 県別計算式 をクリックすると、 県別計算式 の設定画面が表示されます。

県別計算式 が設定された場合、 提供計算式 の設定に優先して 県別計算式設定 が適用されます。

注釈: 県別計算式 が設定されている場合、 計算コード 表示欄右に 設定中 と表示されます。

計算式マスターメンテナンス

終了 ESC F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 削除 F10 F11 県別計算式 F12

令和3年度 / 公共土木 / 東京都

計算結果(K) | 計算定数(D)

計算コード: []

計算式名称: []

計算式表示: 表示 非表示

計算式種類: 通常

オプション区分: なし

新旧区分: 共通 新 旧

メモ: []

県別計算式

終了 ESC F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 表示 F9 削除 F10 F11

計算コード: 139503 設定中

計算式	計算単位 / 結果
A=K1*K2*K3	小数第1位止め / 四捨五入
D=DA/(K1*K3)	小数第3位止め / 四捨五入

該当計算式コードに
県別計算式が
設定されている場合
計算コード表示欄右に
「設定中」と表示される

該当計算式コード入力後
計算式毎の設定を行った後
「確定」で
県別計算式が設定／修正される

確定 キャンセル 計算式を入力してください。(最大255文字)

県別計算式の設定が行われている計算コードについては、計算式マスターメンテナンス画面上部の表示をクリックして表示される計算コード一覧の県別設定欄に○が表示されます。

計算式マスターメンテナンス

終了 ESC F2 年度 F3 積算体系 F4 県 F5 複写 F6 計算式 F7 計算記号 F8 計算条件 F9 表示 F10 削除 F11 F12 県別計算式

令和3年度 / 公共土木 / 東京都

計算結果(G) | 計算定数(I)

計算コード:

計算式名称:

計算式表示: 表示 非表示

計算式種類: 通常

オプション区分: なし

新旧区分: 共通 新 旧

メモ:

計算コード選択

独自	県別設定	計算コード	計算名称
		39502	H23.市場単価 P種防護柵(部材)設置・撤去
	○	39503	H23.市場単価 P種防護柵(根巻きコンクリート)
		39504	H25.市場単価 P種防護柵設置(土中)
		39505	H25.市場単価 P種防護柵(部材)設置1(39502)
		39506	H25.市場単価 P種防護柵(部材)設置2(39502)
		39518	H23.市場単価 道路標識板設置(案内以外)
		39519	H23.市場単価 標識板取付金具(添架式)
		39520	H26.市場単価 道路標識基礎設置(1基当り)
		39521	H23.市場単価 標識柱・基礎・板撤去(路側式)
		39522	H23.市場単価 標識柱・基礎・板撤去(その他)
		39536	H23.市場単価 Gr部材(レール)設置のみ
		39537	H23.市場単価 道路標識板設置(形式選択)

県別計算式が設定されているコードには
県別設定欄に○が表示される

確定 キャンセル

該当 計算コードに 県別計算式 が設定されている場合、システム設定の 単価表等の数量基準 を 計算式... にしている場合でも、 県別計算式設定 が優先され、 単価表等の数量基準 の丸めは適用されません。

県別計算式

計算コード: 00202 (設定中)

計算式	計算単位 / 結果	計算式行表示
R1=Td*1	1円単位 / 四捨五入	表示する
R2=Td*2	1円単位 / 四捨五入	表示する
R3=Td*N*Y	1円単位 / 四捨五入	表示する
M1=Td*Y1	1円単位 / 四捨五入	
M2=Td*Y2	1円単位 / 四捨五入	
Td=a*Ta*B	1円単位 / 四捨五入	
B=B1*F1+Y1	1円単位 / 四捨五入	

計算条件設定

パイプハンマ杭打工
鋼管杭(φ400~φ500未満)
打込量: 1.0m以下

条件	力便	単位	以下より選択してください
杭の種類を選択	単 杭		単 杭
φを選択	φ400~φ500未満		複 杭
打込量を指定	1.0m以下		
打込深さを指定	0~10mm		
マシントコ使用の有無を選択	使用しない		
マシントコ使用の有無を選択	使用しない		

計算結果

R03 油圧パイプハンマ 鋼管杭

計算式	代入結果	記号	名称	値
R1=Td*1	1=1*1	R1	世話係数	1
R2=Td*2	2=1*2	R2	とび工係数	2
R3=Td*N*Y	0=1*1*0	R3	溶接工係数	0
M1=Td*Y1	0=1*0	M1	A'の係数	0
M2=Td*Y2	0=1*0	M2	加-の係数	0
Td=a*Ta*B	1=1*1*1	Td	施工日数	1
		B	作業係数	1
		a	板厚係数	1
		Ta	標準施工日数	1.3
		B1	作業係数(表)	

計算結果

R03 油圧パイプハンマ 鋼管杭

計算式	代入結果	記号	名称	値
R1=Td*1	1.3=1.3*1	R1	世話係数	1.3
R2=Td*2	2.6=1.3*2	R2	とび工係数	2.6
R3=Td*N*Y	0=1.3*0	R3	溶接工係数	0
M1=Td*Y1	0=1.3*0	M1	A'の係数	0
M2=Td*Y2	0=1.3*0	M2	加-の係数	0
Td=a*Ta*B	1.3=1*1*1.3	Td	施工日数	1.3
		B	作業係数	1
		a	板厚係数	1
		Ta	標準施工日数	1.3
		B1	作業係数(表)	
		L1	打込区分1	1
		t	板厚区分	1
		Y1	A'の有無	0
		F1	作業係数調整	1

県別計算式が設定されている場合、該当計算式を使う歩掛計上時の計算条件設定/計算結果画面で「県別設定適用」と表示される

県別計算式が設定されている場合、県別計算式設定が適用され、システム設定の単価表等の数量基準の設定は適用されない

計算画面右上の「提供設定」をクリックすると、県別設定の適用が解除され、システム設定の単価表等の数量基準の設定が適用される

2.10 単価分類

歩掛年度・積算体系・県・適用年月日ごとの単価分類を設定します。

注釈：通常、ユーザーが設定する必要はありません。

単価分類メンテナンス

終了 ESC 年度 F2 積算体系 F3 県 F4 適用単価 F5 大分類 F6 中分類 F7 小分類 F8 F9 F10 選択 F11 削除 F12

令和3年度 / 公共土木 / 東京都 23区 / 令和3年12月01日

大分類:

確定 キャンセル 大分類コードを入力してください。
【入力範囲】提供：1～69 独自：70～98

2.11 単価

歩掛年度・積算体系・県・適用年月日ごとの単価を設定します。

注釈：通常、ユーザーが設定する必要はありません。

The screenshot shows a software window titled "単価メンテナンス" (Unit Price Maintenance). The window has a menu bar with options: 終了 (ESC), 年度 (F2), 積算体系 (F3), 県 (F4), 適用年月日 (F5), 削除 (F6), F7, F8, F9, 独自複写 (F10), 選択 (F11), and 独自入出力 (F12). The breadcrumb path is "令和 3年度 / 公共土木 / 東京都 23区 / 令和 3年12月01日".

The main content area is titled "単価コード設定" (Unit Price Code Setting). It includes a checkbox for "単価金額編集" (Unit Price Amount Editing). The form fields are as follows:

- 単価コード: A text input field containing "-" and a dropdown menu for "空コード" (Empty Code).
- 名称: A text input field.
- 規格: A text input field.
- 単位: A text input field and a dropdown menu.
- 地区単価区分: Radio buttons for "統一" (Unified) and "地区" (Regional).
- 要素: A text input field and a dropdown menu.
- 管材費: 管材 (Pipe material fee)
- 処分費: (Disposal fee)
- 機器単体費: (Machine unit fee)
- 分類コード: A text input field and a dropdown menu.
- 単価: A text input field containing "0".
- 変動単価: (Variable unit price)
- 独自出典: A text input field.
- 表示No: A text input field containing "0".

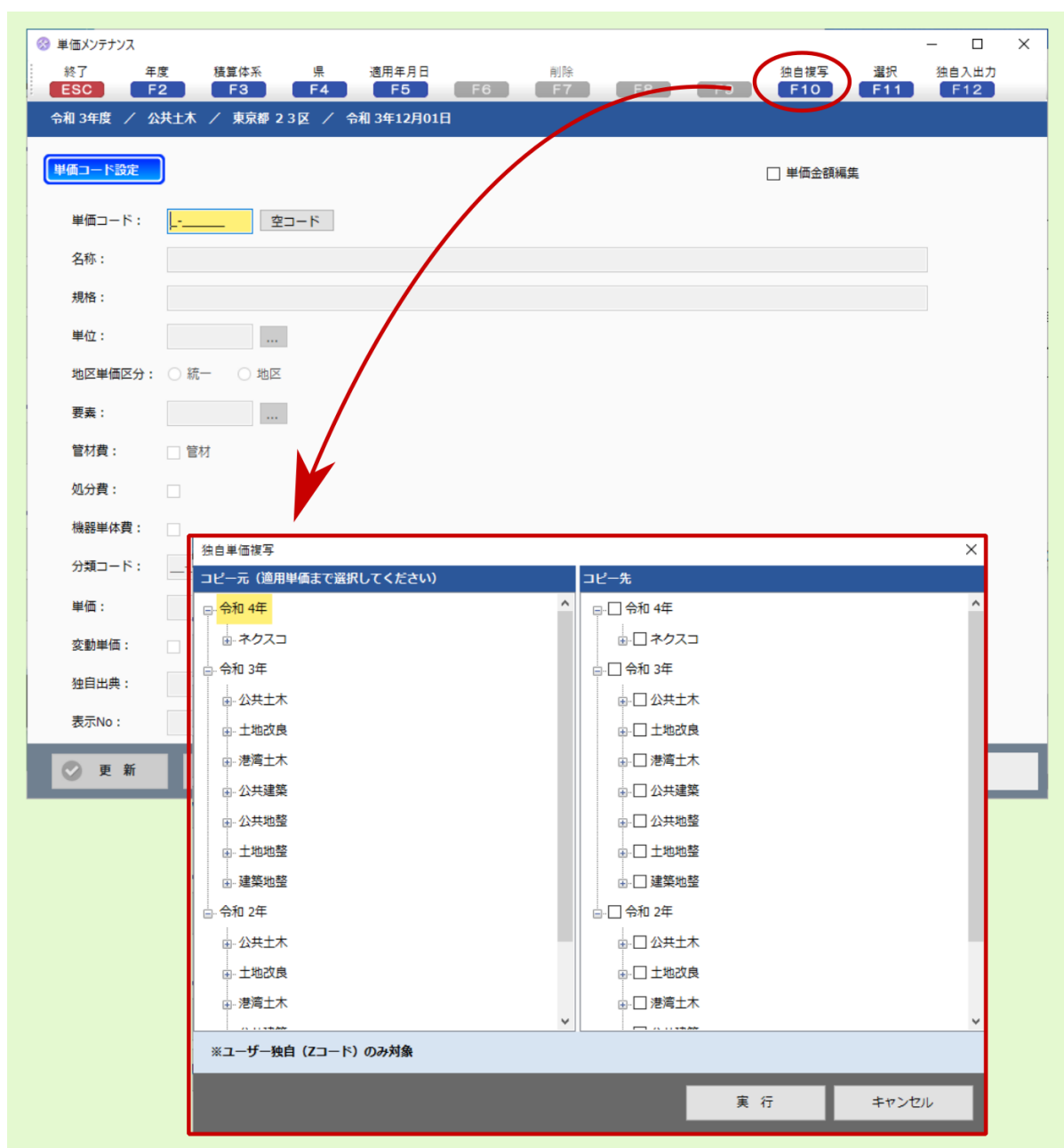
At the bottom, there are buttons for "更新" (Update) and "キャンセル" (Cancel). A message box states: "単価コードを入力してください。【入力範囲】 U-000001 ~ V-999999、X-000001 ~ Z-999999".

2.11.1 独自複写（独自単価複写）

ユーザー独自単価（単価コードの先頭文字がZで始まる単価）については各単価世代（適用年月日）毎に設定できますが、

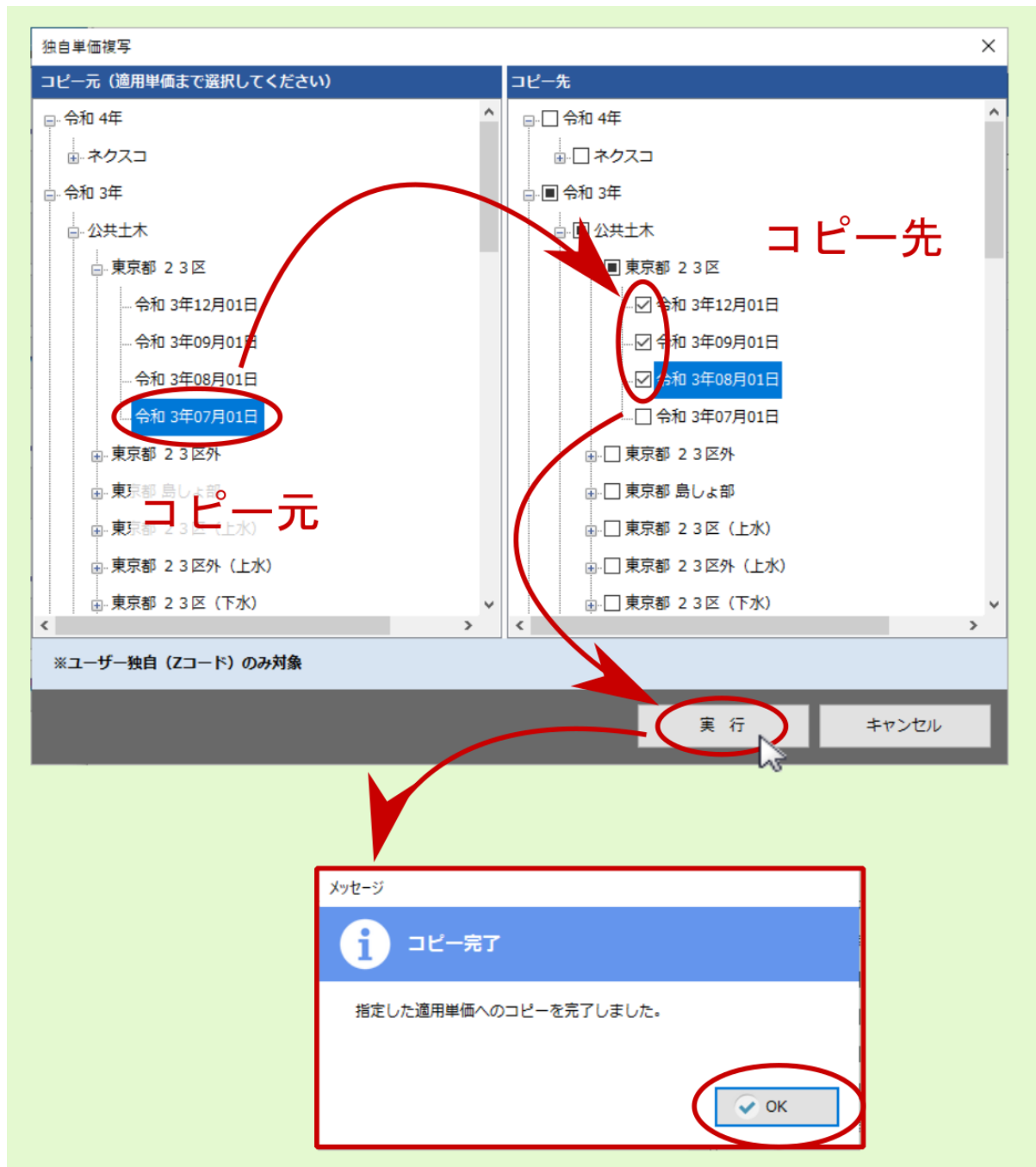
特定の積算体系・県・適用年月日の単価に登録しているユーザー独自単価を別の積算体系・県・適用年月日の単価に複写することができます。

単価メンテナンス画面より、画面上部の独自複写（F10）をクリックすると、独自単価複写画面が表示されます。

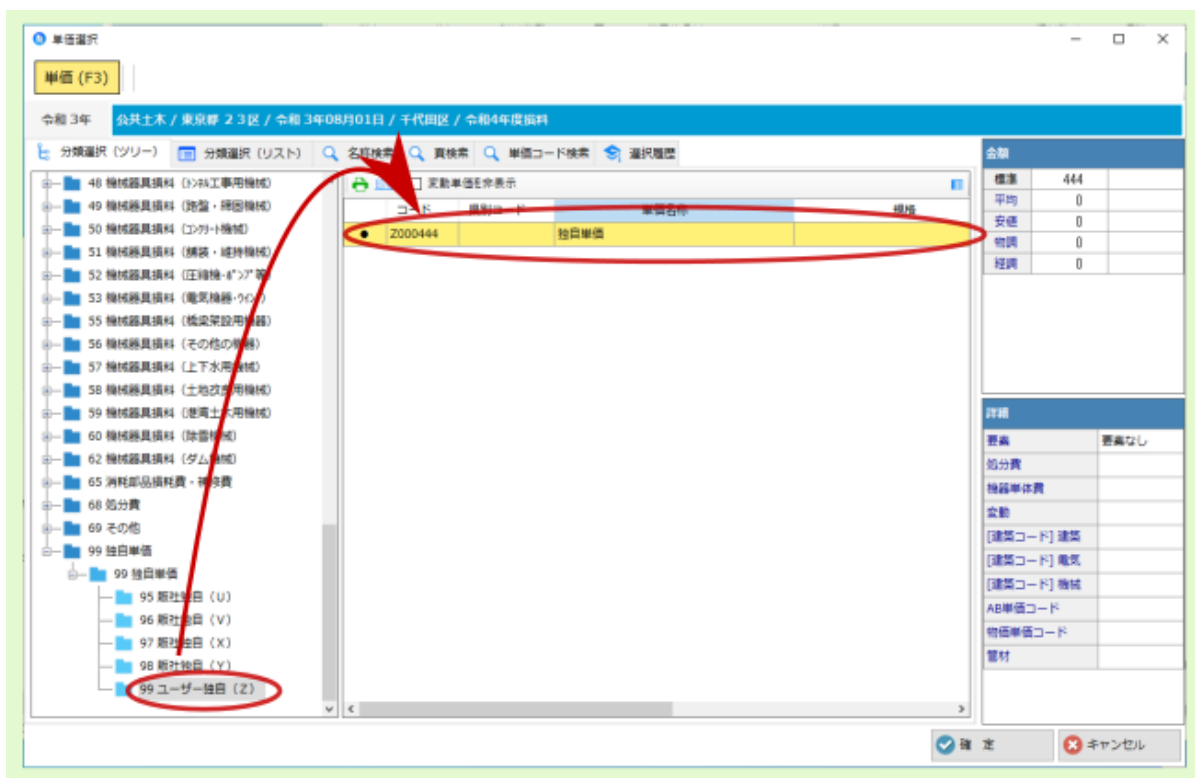


独自単価複写 画面左側にコピー元、画面右側にコピー先の積算体系・県・適用年月のツリーが表示されますので、画面左のコピー元の該当単価世代を選択後、画面右のツリーより複写先の単価世代にチェックを付けた後、画面下部の実行をクリックしてください。

独自単価複写 が完了した旨、メッセージ画面が表示されましたら、OK をクリックしてください。



複写先の世代の 単価選択 画面より、複写した ユーザー独自 単価を選ぶことができます。



2.11.2 単価金額編集（変動単価の打ち換え情報の編集）

提供単価のうち 変動単価 については、工事内で打ち変えて登録された 単価金額 と 出典情報 を編集できます。画面右上の 単価金額編集 にチェックを付けた後、単価コードを指定すると、画面下部に編集欄が表示されますので、該当する 単価 欄 / 出典 欄を編集後、画面左下の 更新 をクリックしてください。

注釈：現在登録されている情報を全て削除する場合は、画面上部の 削除（F7）をクリックしてください。

注釈：損料単価 / 市場単価 については編集対象外となります。

登録されている情報全てを削除する場合は削除(F7)をクリック

単価金額編集

単価コード: R-000691 空コード New

名称: タイヤ規制保安員

規格:

単位: 人

地区単価区分: 統一 地区

要素: 労務費

管材費: 管材

処分費:

機器単体費:

分類コード: 01-01-01

地区	単価	変動単価	出典	表示No
岡山・旭東	12,345	<input type="checkbox"/>	令和4年5月10日 変動単価登録日	0
岡山・旭西	12,345	<input type="checkbox"/>	12/10日 追加	0
旧斐崎町	12345	<input type="checkbox"/>		0
御津・建部	0	<input type="checkbox"/>		0
旧瀬戸町	0	<input type="checkbox"/>		0

更新 キャンセル

該当項目を編集

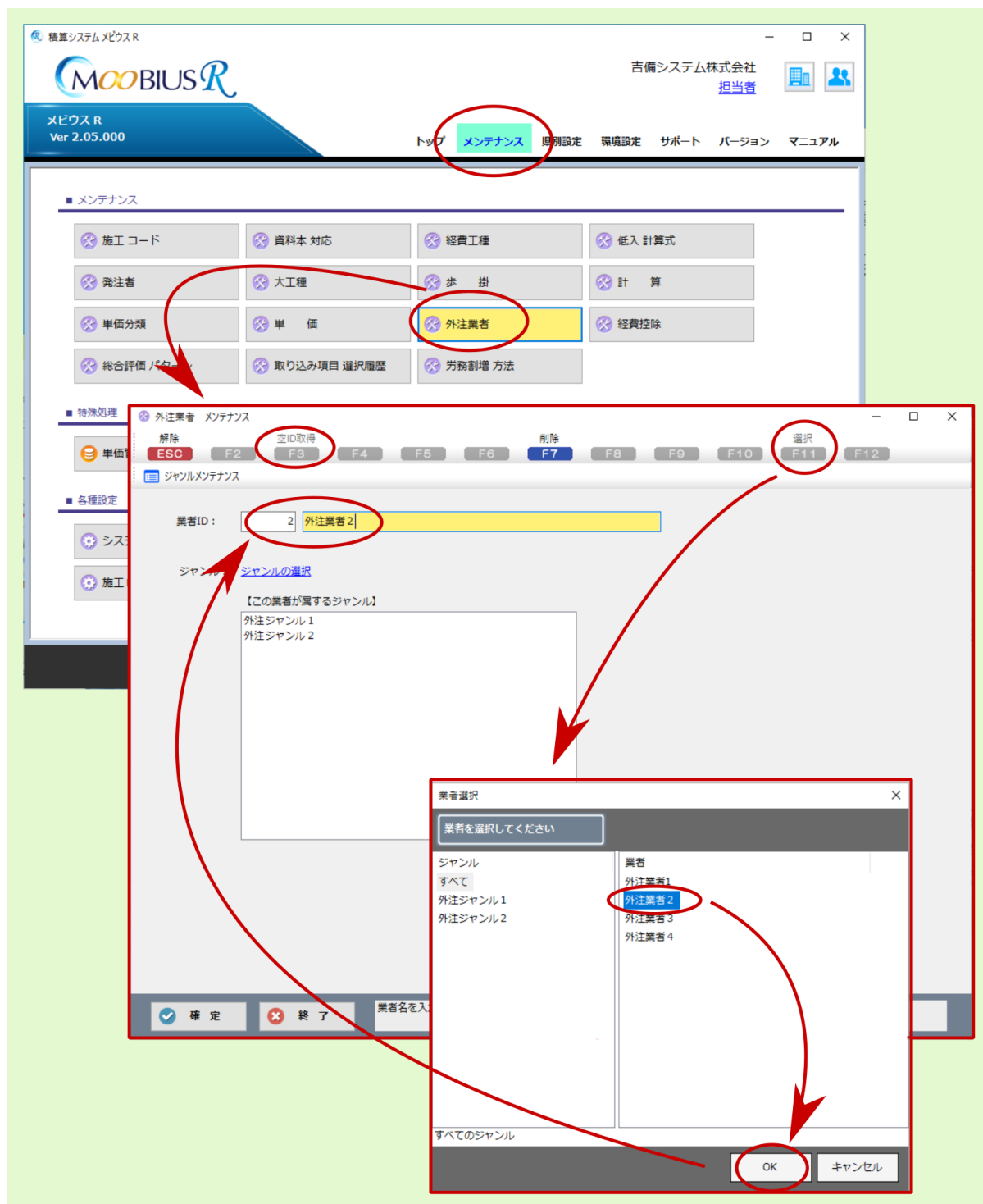
2.12 外注業者

外注業者 と外注業者の分類項目 ジャンル を登録 / 編集できます。

起動画面の メンテナンス タブ内の 外注業者 をクリックして表示される 外注業者メンテナンス 画面より、業者 ID と業者名称を入力してください。

注釈: 既に登録済みの業者名称等を編集する場合は、業者 ID 入力欄をクリック後、画面右上の F11 選択 をクリックして表示される 業者選択 画面より、該当業者名を選択後、OK をクリックしてください。

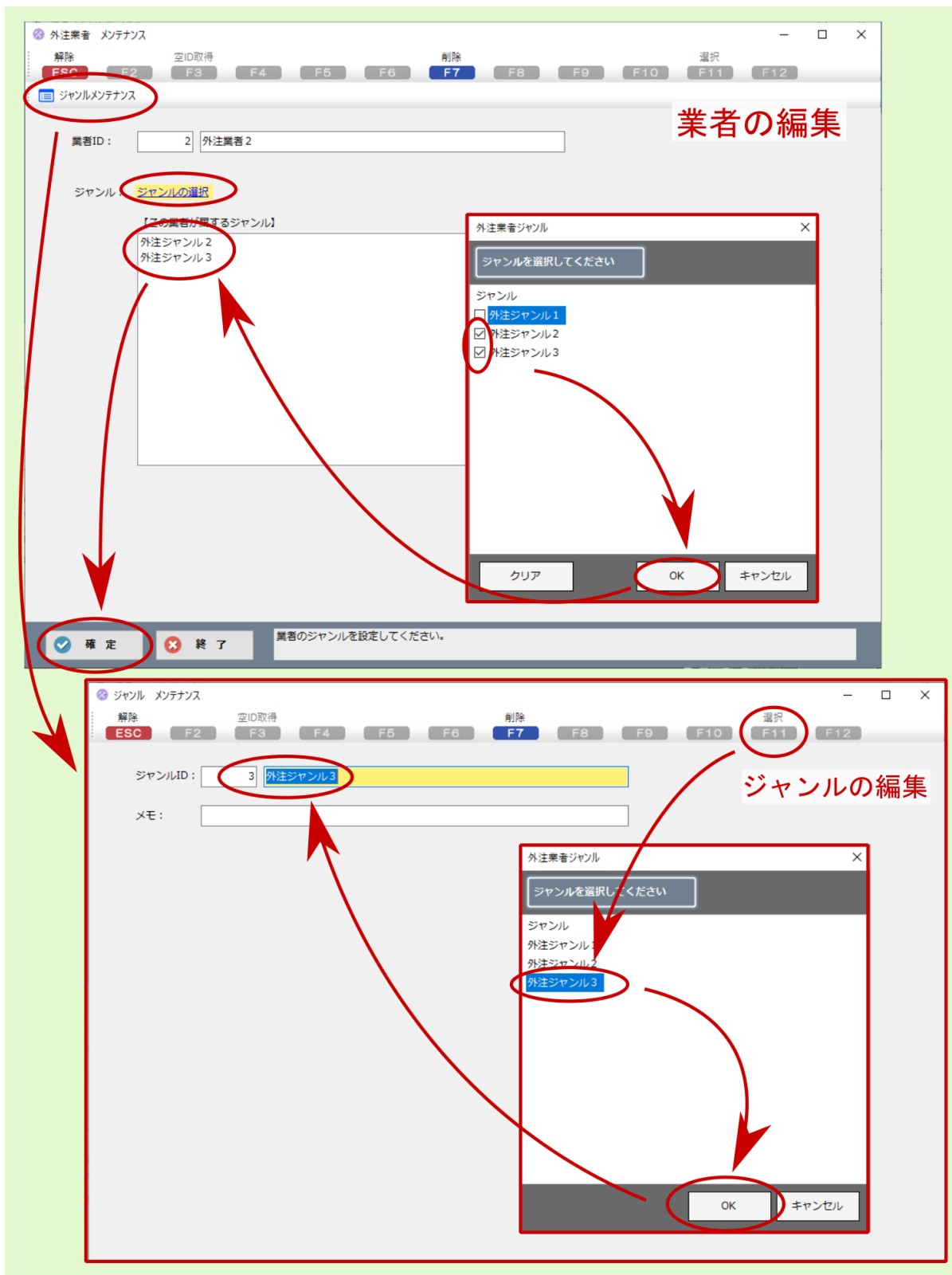
注釈: 新規登録の場合は F3 空 ID 取得 をクリックしてください。空 ID が 業者 ID 欄に反映されます。



引き続き、新規登録 / 選択した 業者 ID に対して、所属する ジャンル を指定しますので、ジャンルの選択のリンクをクリックして表示される選択画面より、該当ジャンルにチェックを付けた後、OK をクリックしてください。

【この業者が属するジャンル】欄にチェックを付けた業者名が表示されますので、確定 をクリックしてください。編集内容がマスターデータに反映されます。

注釈: 既登録済みのジャンルの編集や、ジャンルの新規登録を行う場合は、ジャンルメンテナンス をクリックして表示される画面より編集 / 新規登録を行ってください。



2.13 経費控除

経費控除の項目別対象表を設定します。

注釈: 提供データは設定の変更・削除ができません。

経費控除(項目別対象表)メンテナンス

終了 ESC F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

項目	【共通仮設費】 直接工事費+支給品費+ 無償貸付機械等 評価額+ 事業損失防止費	【現場管理費】 直接工事費+共通 仮設費= 純工事費	【一般管理費】 純工事費+現場管 理費= 工事原価	ヘルプ
桁等購入費	全額控除	控除しない	控除しない	PC桁,簡易組立式橋梁,グレーチング床版,門扉,ポンプ,大型遊...
処分費等 (参考)	控除しない	控除しない	控除しない	
支給品等 桁等購入費	全額控除	控除しない	全額控除	
支給品等 一般材料費	控除しない	控除しない	全額控除	
支給品等 別途製作の製作品	全額控除	全額控除	全額控除	別途製作したものを一度現場に設置した後に発生品となり再...
支給品等 電力	控除しない	控除しない	全額控除	
無償貸付機械評価額	控除しない	控除しない	全額控除	無償貸付機械と同機種同型式の建設機械損料額から当該機械...
銅橋門扉等工場原価	全額控除	全額控除	控除しない	別途製作する標識柱 (F型柱,WF型柱,オーバーヘッド式)を...
現場発生品	全額控除	全額控除	全額控除	同一現場で発生した資材を物品管理法で規定する処理を行わ...
ダム工事 支給品電力 (基本料金含む)	全額控除	全額控除	全額控除	
ダム工事 無償貸付機械評価額	控除しない	全額控除	全額控除	

確定 終了

2.14 総合評価パターン

総合評価シミュレーションで使用する評価パターンの構成を設定します。

総合評価パターンメンテナンス

終了 ESC 年度 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12 選択 内訳登録

令和3年 / 岡山県

パターンコード:

パターン名称:

パターン構成

概要			内容			基準			
▲ ▼	▲ ▼	▲ ▼	▲ ▼	▲ ▼	▲ ▼	独自	コード	名称	配点
独自	コード	名称	独自	コード	名称				

確定 キャンセル

パターンコードを入力してください。
【入力範囲】 提供: 1~999、独自: 1000~9999

2.15 労務割増方法

独自の 労務割増方法 に関する設定です。労務割増方法メンテナンス画面 では、独自割増方法の コード / 割増名称 / 略名 / 夜間 / 表示順 を登録します。

登録した独自労務割増方法を選択した状態で、画面上部の 計算式 をクリックすると、選択している 独自割増方法の計算式の設定画面が表示されます。

設定項目と計算式設定例等については下表を参照ください。

表 1 労務割増方法メンテナンス画面の設定項目

コード	独自労務割増方法のコードを設定 ・ 会社独自：100～169 ・ ユーザー独自：170-199
割増名称	= 労務割増方法選択画面に表示される選択肢の名称
略名（内訳表示用）	= 明細編集画面の労務割増欄に表示される名称
夜間	夜間割増であるかどうかの設定 チェックを付けた独自割増方法を選んだ場合で、 亜熱帯補正 と重複する際に注意喚起の確認画面が表示されます。
表示順	労務割増方法選択時に、提供項目に後続して表示される独自項目の表示順を設定

表 2 計算式画面の設定項目

行 No.	独自労務割増方法の計算式順を設定 数字の若い順に計算していきます
計算式	<ul style="list-style-type: none">・ A1 ~ A100 : 計算結果を格納する変数 (左辺に記述)・ X : 基準額 (設計労務単価)・ Y : 割増対象賃金比・ S : 週休 2 日補正時の補正係数
丸め区分	丸めの設定 <ul style="list-style-type: none">・ 0 : 丸めなし・ 1 : 労務割増後の丸め を適用・ 2 : 1 時間当たり割増賃金係数 の丸めを適用

メンテナンス

年度／積算体系／県
を設定

当該項目を選択後
「計算式」クリック

独自割増項目を設定

選択している
割増項目の
計算式を設定

コード	割増名称	略名 (内訳表示用)	夜間	工事条件に表示	表示順
2	平日の割増	条件設定 (平日)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1
3	時間的制約・冬期補正の割増	時刻・冬期	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2
4	休日の割増	条件設定 (休日)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3
100	夜間 (1.25) 【独自割増】	独自割増 (x1.25)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	100

行No	計算式	丸め区分
1	A1=X*1.25	丸めしない

区分	費目	施工	工程名称	数量	単位	単価	金額	労務割増	歩掛／単価コ...	積算情報	処分費
1	①	①	普通作業員					24.125	R-000020	公共土木 徳島県 全域 徳島東部 1 令和04年11月01日	

表 3 計算式設定例

<p>例 1</p> <p>基準額を 1.25 倍し、週休 2 日補正を行う場合</p>	<p>・ 計算式 : $A1=X*1.25*S$</p>
<p>例 2</p> <p>夜間補正 (1.5 倍) 後丸めた結果と時間的制約補正 (1.06) 後丸めた結果の和に対し、週休 2 日補正を適用した後丸めを行わない場合</p>	<p>行 No. : 1... 計算式 : $A1=X*1.5...$ 丸め区分 : 1</p> <p>行 No. : 2... 計算式 : $A2=X*1.06...$ 丸め区分 : 1</p> <p>行 No. : 3... 計算式 : $A3=(A1+A2)*S...$ 丸め区分 : 0</p>
<p>例 3</p> <p>夜間補正 (1.5 倍) 後丸めた結果に対し時間的制約を著しく受ける場合の補正 (1.14) を適用後丸める場合</p>	<p>行 No. : 1... 計算式 : $A1=X*1.5...$ 丸め区分 : 1</p> <p>行 No. : 2... 計算式 : $A2=A1*1.14...$ 丸め区分 : 1</p>

2.16 取り込み選択履歴（表紙）

WEB 解析方式 で設計書を取り込んだ際に取得できた表紙情報 と、取り込み後の 工事情報 や 経費条件 設定項目の初期値等での設定値との対応履歴に関する設定です。

取得した値 欄の設定値が取り込まれた場合、工事情報初期値や経費条件設定項目初期値に 選択した値 欄の情報設定されます。

注釈：本履歴の設計書取り込み時の工事情報 / 経費条件設定項目初期値等への反映については、システム設定内の 工事成績時 初期値 - 取り込み（Web 解析）の設定に依存します。

メンテナンス

年度/積算体系/県
を設定

該当項目を選択後
「計算式」クリック

独自割増項目を設定

選択している
割増項目の
計算式を設定

コード	割増名称	略名 (内訳表示用)	夜間	工事条件に表示	表示順
2	平日の割増	条件設定 (平日)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1
3	時間的制約・冬期補正の割増	時制・冬期	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2
4	休日の割増	条件設定 (休日)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3
100	夜間 (1.25) 【独自割増】	独自割増 (x1.25)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	100

行No	計算式	丸め区分
1	A1=X*1.25	丸めしない

区分	費目	施工	工種名称	数量	単位	単価	金額	労務割増	歩掛/単価コ	換算情報	処分費
1	普通作業員							24.125	R-000020	公共土木 徳島県 全域 徳島東部1 令和04年11月01日	

2.17 ローカル解析履歴（内訳）

履歴選択 で表示されるデータを確認、削除することができます。データを削除することで、置換履歴の候補に表示されなくなります。

取込項目 を 計算条件単価 にすると、設計書を取り込んだ際に計算条件で単価選択をした情報が参照できます。誤った情報を登録してしまった場合、ここで該当情報を選択し、削除することができます。

ローカル解析履歴メンテナンス

終了
ESC F2 F3 F4 F5 F6 **削除 F7** F8 F9 F10 F11 F12

取り込み項目: 歩掛

条件をクリア 年度: すべて 積算体系: すべて 都道府県: すべて 条件: なし

すべて選択 すべて解除

削除 (No.)	積算	都道府県	取込み名称	歩掛コード	歩掛名称
<input checked="" type="checkbox"/> 3997		鳥取県	土砂等運搬 土砂等発生現場=標準;積込機種・規格=バックホウ 山積0.8M3(平積0.6M3);土質=土砂(岩	412-010-021	土工 土工 土砂等運搬
<input type="checkbox"/> 53998		鳥取県	土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	412-010-021	土工 土工 土砂等運搬
<input type="checkbox"/> 53999		鳥取県	土砂等運搬 軟岩	412-010-021	土工 土工 土砂等運搬
<input type="checkbox"/> 54000		鳥取県	土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	412-010-011	土工 土工 土砂等運搬
<input type="checkbox"/> 54001		岡山県	土砂等発生現場=標準;積込機種・規格=バックホウ 山積0.8M3(平積0.6M3);土質=軟岩;D	412-010-021	土工 土工 土砂等運搬
<input type="checkbox"/> 54002		鳥取県	転落防止柵一般形 柵高1.1M	495-064-011	土木工事市場単価 ☆ 【防護柵設置工(横断・転落防止柵)】 防護柵(横断・転落防止柵)設置工
<input type="checkbox"/> 54003		鳥取県	転落防止柵一般形 柵高1.1M	495-064-021	土木工事市場単価 ☆ 【防護柵設置工(横断・転落防止柵)】 防護柵(横断・転落防止柵)撤去工
			防護柵(横断・転落防止柵)設置工		土木工事市場単価 ☆

削除するレコードにチェックを付けてください。

第 3 章

特殊処理内の項目

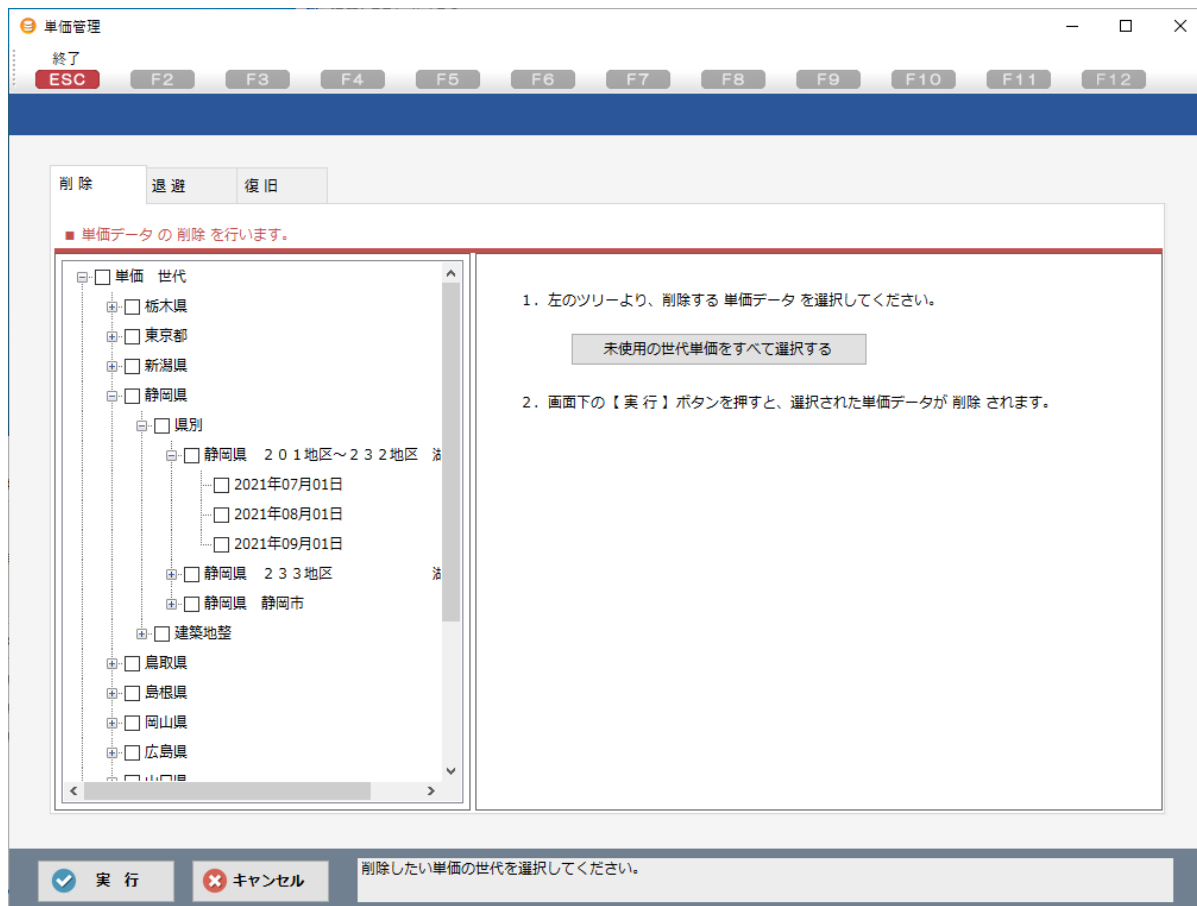
特殊処理 内には、メンテナンス・各種設定 内で設定した各項目や独自作成した単価などを、システム外に保存したりシステム内に復旧したりする項目があります。



3.1 単価管理

単価データの削除や、独自単価データと単価金額編集データ（変動単価の打ち替え情報）の退避／復旧を行います。

項目の詳細については、以下を参照ください。



3.1.1 削除（単価管理）

データ容量を確保するため、不要な単価データを削除する等の場合は、削除 タブ内から該当単価データを削除します。削除 タブ内の該当単価データにチェックを付けた後、画面下部の 実行 をクリックしてください。選択した単価が削除されます。

注釈: 工事データで使用している単価は 工事使用中 と表示されます。削除すると該当工事を開くことができませんので、再度該当単価をダウンロードする必要があります。

注釈: 未使用の世代単価を全て選択する をクリックすると、工事使用中 以外の単価にチェックが付きます。

■ 単価データの削除を行います。

1. 左のツリーより、削除する単価データを選択してください。

未使用の世代単価をすべて選択する

2. 画面下の【実行】ボタンを押すと、選択された単価データが削除されます。

「★工事使用中」以外の単価にチェックが付く

■ 単価データの削除を行います。

1. 左のツリーより、削除する単価データを選択してください。

未使用の世代単価をすべて選択する

2. 画面下の【実行】ボタンを押すと、選択された単価データが削除されます。

★工事使用中
★工事使用中
★工事使用中
★工事使用中

工事で使用している単価には「★工事使用中」が表示される

該当単価全てに
チェックをつけたら
実行

実行 キャンセル

削除したい単価の世代を選択してください。

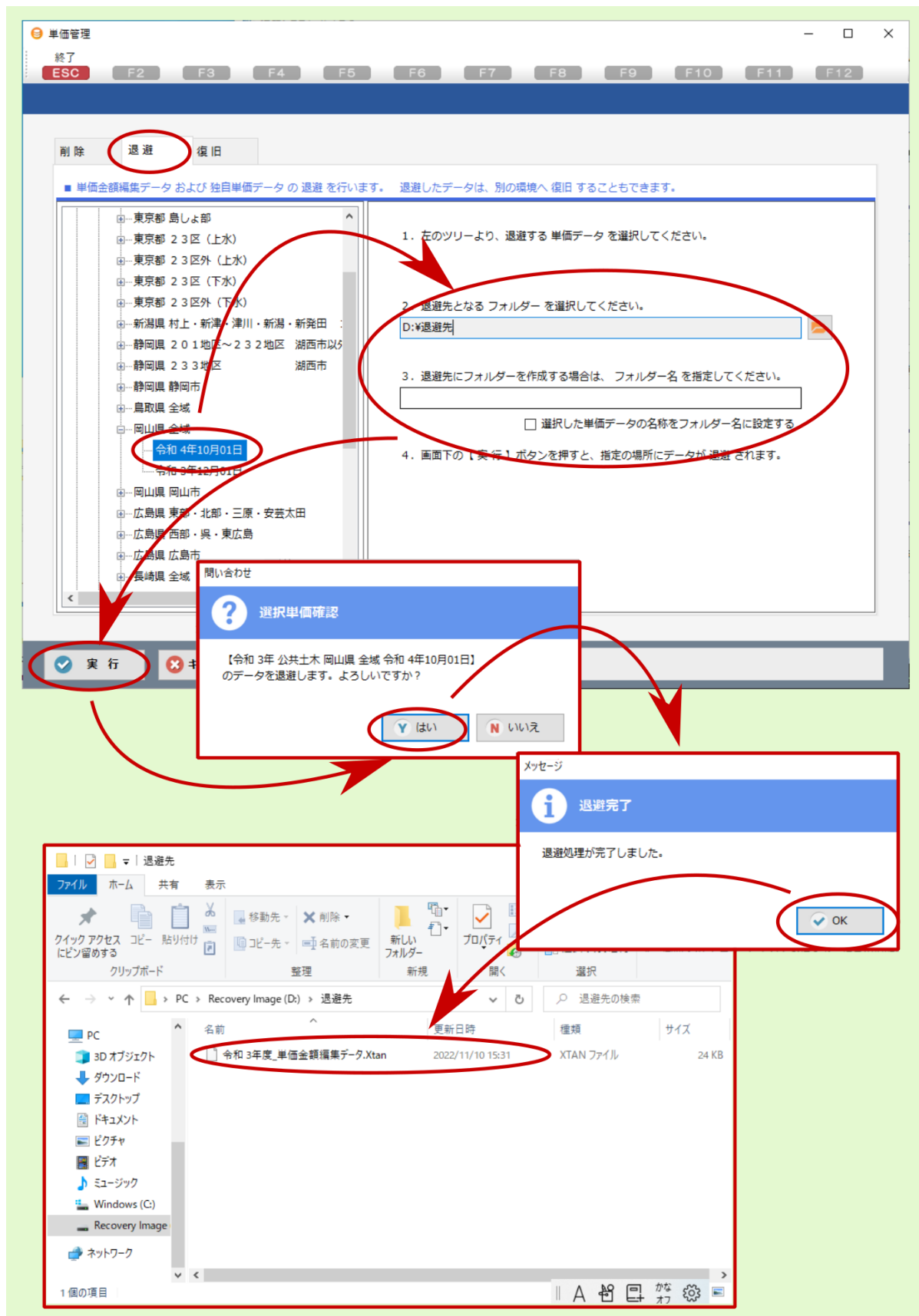
3.1.2 退避（単価管理）

退避 タブ内からは、登録した独自単価データや変動単価の打ち変えデータ（単価金額編集データ）をバックアップファイルとして退避できます。

退避 タブ内の画面左側の単価ツリーより該当単価を選択後、画面右側で退避フォルダー等を設定した後、画面下部の **実行** をクリックしてください。

データを退避する旨、確認画面が表示されますので はい をクリックしてください。退避が完了すると、その旨メッセージ画面が表示されますので、 **OK** をクリックしてください。先に設定したフォルダーに退避ファイルが生成されます。

注釈: 変動単価の打ち変えデータについては、 [単価金額編集（変動単価の打ち変え情報の編集）](#) の項を参照ください。



3.1.3 復旧（単価管理）

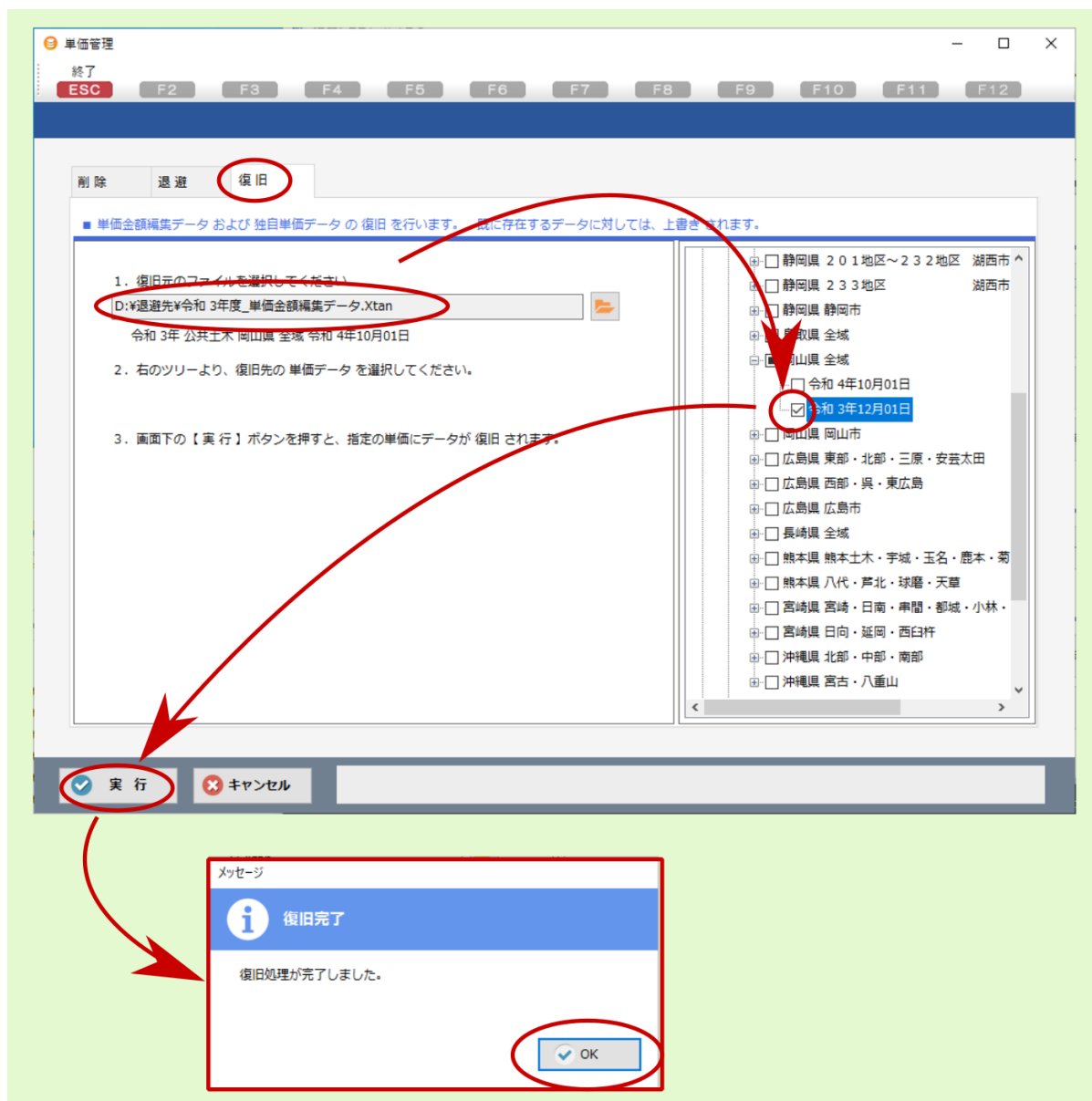
復旧タブ内からは、登録した独自単価データや変動単価の打ち変えデータ（単価金額編集データ）の退避ファイルを取り込むことができます。

復旧タブ内の画面左側より該当する退避ファイルを指定後、画面右側の単価ツリーより、復旧対象の単価世代にチェックを付けた後、画面下部の **実行** をクリックしてください。

復旧完了の旨メッセージ画面が表示されますので、**OK** をクリックしてください。

先に設定した単価世代に退避ファイルに含まれていた独自単価 / 変動単価の打ち変えデータ（単価金額編集データ）が反映されます。

注釈: 変動単価の打ち変えデータについては、[単価金額編集（変動単価の打ち変え情報の編集）](#)の項を参照ください。



3.2 年度移行処理

過去年度のデータを新年度に移行できます。

移行先年度 / 積算体系 / 県 および 移行元年度 を設定後、該当項目左のチェックを付けた後、実行 をクリックしてください。設定に基づきデータ移行が行われます。

項目によっては、範囲指定を行えます。移行範囲等を設定する場合は、...をクリックして表示される画面より、コード範囲等を指定してください。

注釈: 積算 / 県 欄にチェックが付いている項目については、移行先の設定 積算体系 / 県 に基きデータ移行が行われます。

年度移行

終了 ESC 年度 F2 積算体系 F3 県 F4

令和4年度 / 公共土木 / 徳島県

前年度: 令和3年度

移行先年度 / 積算体系 / 県

処理	積算	県	範囲	
<input checked="" type="checkbox"/> 発注者関連	✓	✓	...	クリア
<input checked="" type="checkbox"/> 取込履歴			...	クリア

必要であれば範囲を指定

範囲指定

発注者関連

6_ ~ 99_

確定 キャンセル

移行項目にチェック

実行 キャンセル

項目の詳細については、以下を参照ください。

3.2.1 発注者関連

歩掛年度 / 積算体系 / 県の組み合わせ毎に登録されている発注者情報について、過去の歩掛年度の登録情報を該当年度に移行できます。

注釈: 発注者情報については、[発注者](#)の項を参照ください

移行先年度／積算体系／県

移行元年度

前年度：令和2年度

処理
 発注者関連
 取込関連

積算 県 範囲
 ✓ ✓ 6~99

範囲指定

発注者関連
 6 ~ 99

確定 キャンセル

実行

必要であれば発注者コードの移行範囲を指定

移行先年度／積算体系／県と移行元年度設定後発注者関連にチェックを付け「実行」をクリック

令和3年度 工事

歩掛年度： 令和4年度 令和3年度 令和2年度

積算体系： 公共土木 土地改良 港湾土木 ネクスコ 公共建築（県別単価）
 公共地盤 土地地盤 港湾地盤 公共建築（地盤単価）

大工程：

単価

県： 岡山県 全域

適用単価： 令和4年10月01日 全世代を表示する

地区： 岡山・旭東

詳細設定

経費工種

発注者

発注者
 独自発注者
 独自発注者2
 独自発注者3

設定した年度／積算体系／県に移行された発注者情報

作成開始

発注者を選択して下さい。手入力による追加も可能です。

3.2.2 取込履歴

過去年度の工事において取り込んだ名称に対し、その際選択した歩掛の情報であるところの取込履歴情報を該当年度に移行できます。

注釈：取込履歴については、内訳編集内の項目 **取込履歴** を参照ください。

移行先年度 (F7) **移行元年度** (F4)

令和3年度 / 公共土木 / 鳥取県

前年度: 令和2年度

取込履歴

実行

移行先年度と移行元年度を設定後
取込履歴のチェックを付け
「実行」をクリック

【年度移行】

工事データ(E) 表示(D) 積算(S) 取り込み(M) その他の機能(O) ヘルプ(H)

工事内訳 公共01鳥取1 土地 岡山・旭東 港湾 岡山・旭東 共通設定

【歩掛】公共土木 【単価】公共土木 / 鳥取県 全域 / 令和3年11月10日 / 01鳥取県 令和4年度振替

選択方法: 標準 P 施工P世代 経費工程に関連する工程のみ表示 施工P構成比による選択の簡略化 共通化を自動積算の対象とする

分類選択 (ツリー) 分類選択 (リスト) 名称検索 歩掛構成検索 施工P構成比検索 **取込履歴**

取込名称1	取込名称2	取込名称3	工種
ガードパイプ		GP-A-P-2 E 裏側塗装100...	446 道路維持修繕
ガードレール		GR-B-4 E 裏側塗装100...	446 道路維持修繕
ガードレール (材料費)			495 土木工事市場単価
コンクリート打設工	防塵コンクリートCO厚さ...	1 8-8-4 0 B B	021 コンクリート工
交通誘導警備員			412 土工
床掘り	土砂		003 人力土工
床掘り	土砂		003 人力土工
欄干柱		単柱式径φ9.1柱長さ4.5...	495 土木工事市場単価
転落(横断)防止柵		P 欄干格子H=1.1M土中建...	495 土木工事市場単価
防護柵設置工(材料費を除く...	仕様=GR-A-4 E 塗装...	無; 時間的制約を受ける場合の...	495 土木工事市場単価
養生工	防塵コンクリート		021 コンクリート工
1号橋コンクリート			021 コンクリート工

移行された取込履歴情報

3.3 独自 退避 / 復旧

システム設定や単価など、ユーザー独自のデータについてバックアップ処理等を行います。

独自退避 / 復旧 画面から、画面上部の 年度 ・ 積算体系 ・ 県 ・ 適用年月日 ・ 独自種別 をクリックし、それぞれの設定画面で該当項目を設定してください。

注釈: 積算 / 県 欄にチェックが付いている項目については、移行先の設定 積算体系 / 県 に基きデータ移行が行われます。

The image shows the Moobius R Maintenance menu with the '独自退避/復旧' (Independent Backup/Restore) option highlighted. A red circle and arrow point to a detailed view of this dialog box.

独自退避/復旧

終了 年度 積算体系 県 適用単価 独自種別 経費退避/復旧

ESC F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

令和 4年 / 公共土木 / 徳島県 全域 / 令和 4年11月01日 / 一括独自

独自データに対して行う処理を選択してください

退避 復旧 初期化

別県復旧を行う
 ...退避データが単一積算体系・県で出力されている かつ
 復旧対象に同じ積算体系のみを選択している場合に利用可

退避するフォルダーを選択してください

D:\退避先

処理を行う項目を選択してください

全て選択 クリア

項目名	処理件数	範囲指定
<input type="checkbox"/> 1 : システム設定		...
<input type="checkbox"/> 2 : 発注者関連		...
<input type="checkbox"/> 3 : 名称辞書		...
<input type="checkbox"/> 4 : 工程		...
<input type="checkbox"/> 5 : 種別		...
<input type="checkbox"/> 6 : 細別		...
<input type="checkbox"/> 7 : 計算		...
<input type="checkbox"/> 8 : 県別計算式		...
<input type="checkbox"/> 9 : 資料本対応		...
<input type="checkbox"/> 10 : 新工種対応		...
<input type="checkbox"/> 11 : 施工対応		...
<input type="checkbox"/> 12 : 単価		...

確定 キャンセル

3.3.1 退避（独自 退避 / 復旧）

ユーザー独自のデータを 退避（エクスポート）します。

データに対して行う処理を 退避 に設定後、退避先フォルダーを指定するとともに、該当する退避項目にチェックを付け、画面右下の 確定 をクリックしてください。

退避処理が完了した旨、確認画面が表示されたら、OK をクリックしてください。

先にチェックを付けた退避項目の 処理件数 欄に処理情報が表示されるとともに、指定したフォルダーに退避ファイルが作成されます。

注釈: 項目によっては範囲指定できる場合があります。範囲指定欄をクリックして表示される画面より設定してください。

退避先フォルダー指定

範囲指定

退避項目設定

退避完了

処理情報表示

退避ファイル生成

項目名	処理件数	範囲指定
10: 新工種対応		
11: 施工対応		
12: 単価	3259	A-000001 ~ Z-999999
13: 単価分類		
14: 単価増減対応		
15: 異別単価対応		
16: 数量基準まるめ対象外		
17: 日当たり施工量対応		
18: 統一計算条件		
19: 垂熱帯補正		
20: 総合評価		
21: 外部取り込み/ターン		
22: フォーム選択/ターン		

3.3.2 復旧（独自 退避 / 復旧）

ユーザー独自のデータを復旧（インポート）します。

データに対して行う処理を復旧に設定後、退避したファイルを指定するとともに、該当する復旧項目にチェックを付け、画面右下の確定をクリックしてください。

復旧処理が完了した旨、確認画面が表示されたら、OKをクリックしてください。

先にチェックを付けた復旧項目の処理件数欄に処理情報が表示されるとともに、システムに復旧したデータが反映されます。

独自 退避/復旧

終了 ESC 年度 F2 積算体系 F3 県 F4 適用単価 F5 独自種別 F6 経費退避復旧 F7 F8 F9 F10 F11 F12

令和 3年 / 公共土木 / 複数選択 / 一括選択 /

独自データに対して行う処理を選択してください

退避 復旧 初期化

復旧するファイルを選択してください 旧データを復旧する

D:\退避先¥令和 3年度_独自データ.Rdok

処理を行う項目を選択してください

【メーカー・版社用】詳細設定

ZIP圧縮を... ユーザ... (退避ファイルを送付する場合はチェック / KSET時は外す)

退避ファイルを指定

単価を保持している積算区分・県のみを選択する

別県復旧を行う

...退避データが単一積算体系・県で出力されている かつ 復旧対象に同じ積算体系のみを選択している場合に利用可

項目名	処理件数	詳細設定
<input type="checkbox"/> 10 : 新工種対応		...
<input type="checkbox"/> 11 : 施工対応		...
<input checked="" type="checkbox"/> 12 : 単価		...
<input type="checkbox"/> 13 : 単価分類		...
<input type="checkbox"/> 14 : 単価増減対応		...
<input type="checkbox"/> 15 : 異別単価対応		...
<input type="checkbox"/> 16 : 数量基準まるめ対象外		...
<input type="checkbox"/> 17 : 日当たり施工量対応		...
<input type="checkbox"/> 18 : 統一計算条件		...
<input type="checkbox"/> 19 : 垂熱帯補正		...
<input type="checkbox"/> 20 : 総合評価		...
<input type="checkbox"/> 21 : 外部取り込みパターン		...

復旧項目を指定

確定 キャンセル

メッセージ

復旧完了

復旧処理が完了しました。

OK

11

3.3.2.1 別県復旧を行う

復旧元退避ファイルの県と復旧先設定の県が違うとき、「別県復旧を行う」にチェックを入れると県が違っていてもデータを復旧させることができます。

注釈：退避データが単一の積算体系・県であることと、復旧対象に退避と同じ積算体系のみを選択している時に利用できる機能です。

独自退避/復旧

終了 ESC 年度 F2 積算体系 F3 県 F4 適用単価 F5 独自種別 F6 経費退避復旧 F7 F8 F9 F10 F11 F12

令和 4年 / 公共土木 / 徳島県 全域 / 令和 4年11月01日 /

独自データに対して行う処理を選択してください

退避 復旧 初期化

別県復旧を行う
退避データが単一積算体系・県で出力されている かつ
復旧対象に同じ積算体系のみを選択している場合に利用可

復旧するファイルを選択してください 旧データを復旧する

D:\退避先\令和 4年度_独自データ.Rdok

処理を行う項目を選択してください

全て選択 クリア

項目名	管理系	詳細設定
<input type="checkbox"/> 11 : 施工対応		
<input checked="" type="checkbox"/> 12 : 単価		
<input type="checkbox"/> 13 : 単価分類		
<input type="checkbox"/> 14 : 単価増減対応		
<input type="checkbox"/> 15 : 異別単価対応		
<input type="checkbox"/> 16 : 数量基準まるめ対応外		
<input type="checkbox"/> 17 : 日当たり施工量対応		
<input type="checkbox"/> 18 : 統一計算条件		
<input type="checkbox"/> 19 : 垂熱帯補正		
<input type="checkbox"/> 20 : 総合評価		
<input type="checkbox"/> 21 : 外部取り込みパターン		
<input type="checkbox"/> 22 : フォーム選択パターン		

復旧元退避ファイルの県と
復旧先設定の県が異なる場合
「別県復旧を行う」
・チェック有→別県独自データを復旧
・チェック無→別県独自データを復旧しない

メッセージ

確認

[東京都] のデータを [徳島県 全域] に復旧しますか?

はい いいえ

メッセージ

復旧完了

復旧処理が完了しました。

OK

3.3.3 初期化（独自 退避 / 復旧）

ユーザー独自のデータを初期化（インポート）します。

データに対して行う処理を初期化に設定後、該当する初期化項目にチェックを付け、画面右下の**確定**をクリックしてください。

初期化処理が完了した旨、確認画面が表示されたら、**OK** をクリックしてください。

注釈：項目によっては範囲指定できる場合があります。範囲指定欄をクリックして表示される画面より設定してください。

注釈：初期化したデータは復元できませんので、注意して処理を行ってください。

独自退避/復旧

終了 ESC 年度 F2 積算体系 F3 県 F4 適用単価 F5 独自種別 F6 経費退避復旧 F7 F8 F9 F10 F11 F12

令和 4年 / 公共土木 / 東京都 23区 / 令和 4年11月01日 / 一括独自

独自データに対して行う処理を選択してください

別異復旧を行う
 ... 退避データが単一積算体系・県で出力されている かつ
 復旧対象に同じ積算体系のみを選択している場合に利用可

退避 復旧 初期化

処理を行う項目を選択してください

抽出条件指定

抽出条件を指定して下さい

コード範囲 [Z-000001] ~ [Z-999999]

条件クリア OK キャンセル

初期化項目指定

範囲指定

独自退避/復旧

終了 ESC 年度 F2 積算体系 F3 県 F4 適用単価 F5 独自種別 F6 経費退避復旧 F7 F8 F9 F10 F11 F12

令和 4年 / 公共土木 / 東京都 23区 / 令和 4年11月01日 / 一括独自

独自データに対して行う処理を選択してください

別異復旧を行う
 ... 退避データが単一積算体系・県で出力されている かつ
 復旧対象に同じ積算体系のみを選択している場合に利用可

退避 復旧 初期化

処理を行う項目を選択してください

抽出条件指定

Z-000001 ~ Z-999999

メッセージ

初期化完了

初期化処理が完了しました。

OK

確定 キャンセル

独自退避/復旧

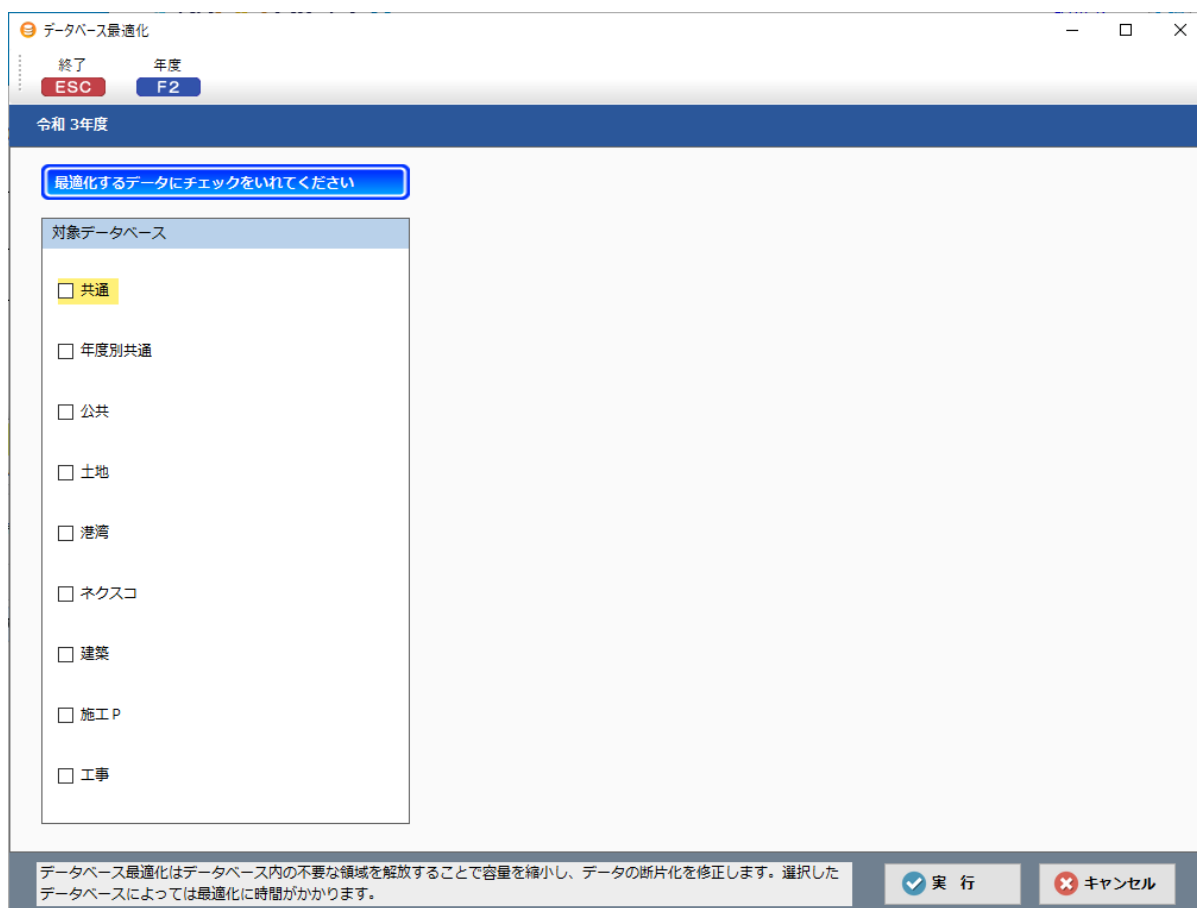
処理を行う項目を選択してください

項目名	処理件数	範囲指定
<input type="checkbox"/> 11: 施工対応		...
<input checked="" type="checkbox"/> 12: 単価	1	Z-000001 ~ Z-999999
<input type="checkbox"/> 13: 単価分類		...
<input type="checkbox"/> 14: 単価増減対応		...
<input type="checkbox"/> 15: 異別単価対応		...

3.4 データベース 最適化

データベースの最適化を行うことで、データの容量を縮小します。

最適化を行うデータの年度を選択し、対象データベースにチェックを入れて実行をクリックしてください。



3.5 工事情報 書き換え

使用中のローカルシステムに保存されている全ユーザーの全工事データの所有者情報をログイン中のユーザー情報に変更する機能です。

警告: ローカルシステムに対してユーザー ID を切り替えて使用している場合、所有者情報の異なる工事データがローカルシステム内に作成されますが、本機能を用いた場合は全ての工事データの所有者情報がログイン中のユーザー情報に書き換えられます。

警告: 工事データの所有者情報と制限設定を掛けた制限者情報は異なるので、本機能により所有者情報を変更したとしても、工事情報に編集制限等を掛けた制限者情報は変更されません。

第 4 章

各種設定内の項目

各種設定内には、内訳編集時の入力設定や積算書の印刷設定、積算体系・県・発注者別の丸め設定等を行う項目があります。



各項目の詳細については、以下を参照ください。

4.1 システム設定

画面表示や帳票出力、データ入力時の初期値や補正、経費計算時の端数処理等、積算システムを使う上での新規に作成する工事の初期値等を設定します。

システム設定 画面上部の 年度・積算区分・県・発注者 をクリックして、それぞれ表示される画面にて設定を行った後、該当項目を設定したら画面右下の確定をクリックしてください。

注釈: 各設定項目の詳細については、システム設定ドキュメントを参照ください。

設定項目	丸め単位/方法	項目値
■ 直接工事費	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
■ 間接工事費	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
■ 総括階層別集計単位		
総括 1	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
総括 2	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
総括 3	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
総括 4	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
総括 5	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
■ 明細一式集計単位		
明細表 (直接工事)	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
(間接工事)	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
内訳書 (直接工事)	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
(間接工事)	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
施工表 (直接工事)	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
(間接工事)	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
手入力 (直接工事)	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
(間接工事)	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
■ 労務割増		
労務割増後の単価金額	丸め単位/方法	1円単位 / 切り捨て
" (週休2日補正がある場合)	丸め単位/方法	労務割増後の単価金額の
1時間当り割増費金係数 (K)	丸め単位/方法	しない

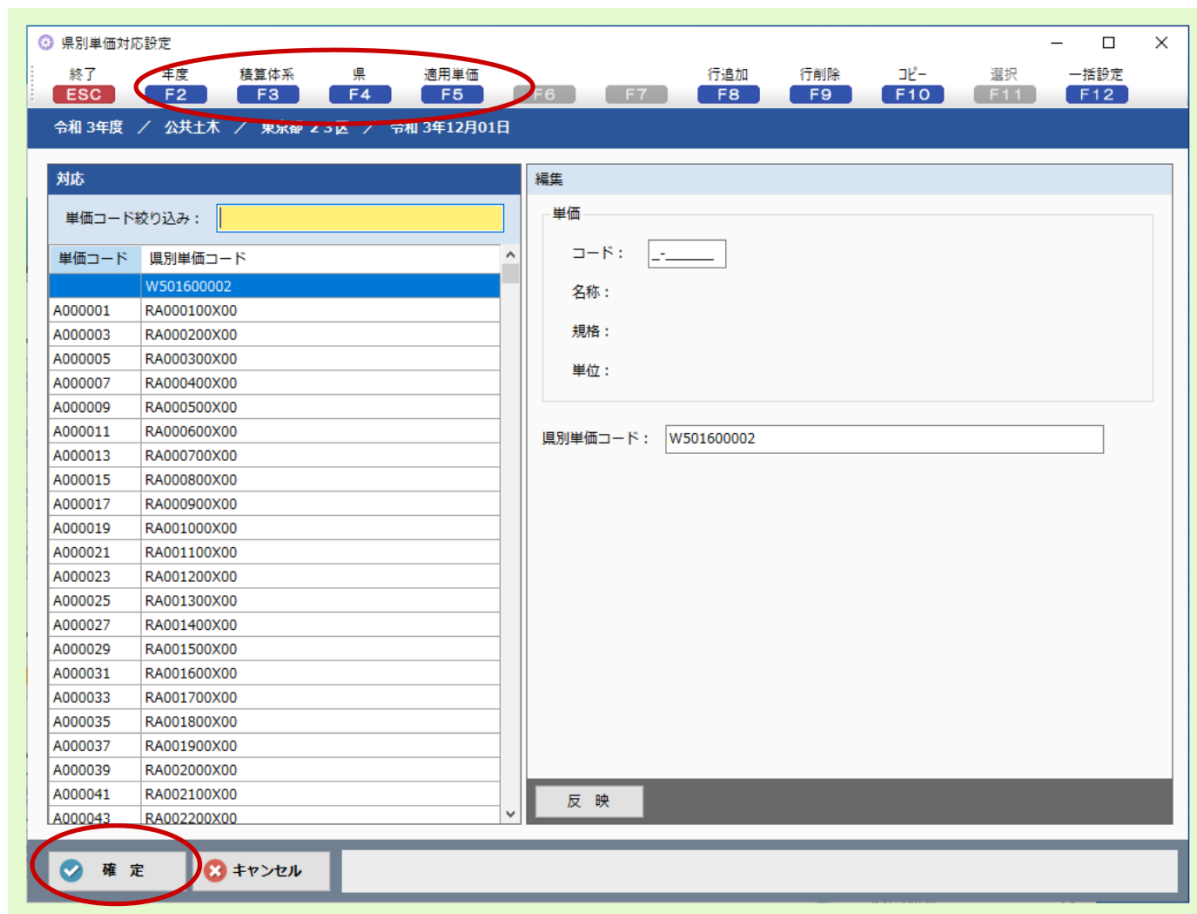
注釈: 画面上部のアイコン 発 をクリックして表示される発注者一覧のうち、発注者別システム設定作成済のものについては、発注者名先頭に「*」が付いています。

4.2 県別単価 対応

県別単価コードと対応する単価の設定をします。

県別単価対応設定 画面上部の 年度・積算体系・県・適用単価 をクリックして、それぞれ表示される画面にて設定を行った後、画面上部の 行追加 か画面左側の一覧からコードを選択して、画面右側の編集にて対応コードを設定してください。

設定が完了したら、画面左下の 確定 をクリックしてください。



4.3 単価増減 対応

単価増減パターンの設定をします。

単価増減対応設定 画面上部の 年度・積算体系・県・適用単価 をクリックして、それぞれ表示される画面にて設定を行った後、パターンコードに対応させる単価コードを設定してください。

設定が完了したら、画面左下の 確定 をクリックしてください。

注釈：適用単価 を選択しますが、設定時に単価データを参照するためのもので、県 単位で設定されます。

注釈：単価増減設定の方法については、土木積算・システム設定ドキュメント内の 単価増減設定 または 建築積算・システム設定ドキュメント内の 単価増減設定 を参照ください。

単価増減対応設定

終了 ESC 年度 F2 積算体系 F3 県 F4 適用単価 F5 削除 F7 作成するパターンの設定 F1 一括設定 F12

令和 3年度 / 公共土木 / 東京都 23区 / 令和 3年12月01日

パターンコード: 00000001 独自パターン

対応: パターンに含まれる単価の一覧

単価コード: R-000300

単価コード	単価名称	規格	単位
R000010	特殊作業員		人
R000020	普通作業員		人
R000200	トンネル作業員		人
R000300	潜水送気員		人

追加

確定 キャンセル 単価コードを入力してください。

4.4 数量基準まるめ 対象外設定

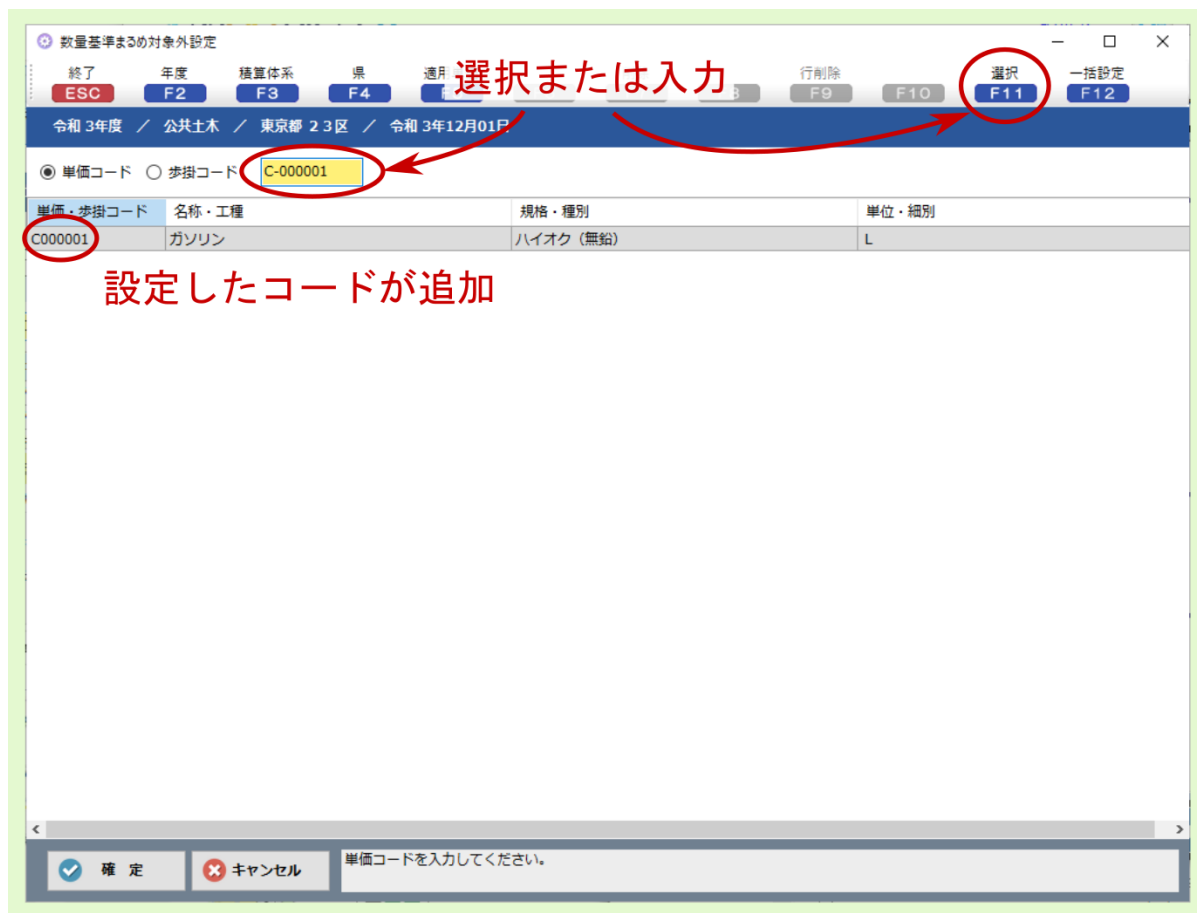
数量基準まるめの対象外とする設定をします。

数量基準まるめ対象外設定 画面上部の 年度・積算体系・県・適用単価 をクリックして、それぞれ表示される画面にて設定を行った後、対象外とする単価コードもしくは歩掛コードを設定してください。

設定が完了したら、画面左下の 確定 をクリックしてください。

注釈：適用単価 を選択しますが、設定時に単価データを参照するためのもので、県単位で設定されます。

注釈：数量基準まるめについては、土木積算・システム設定ドキュメント内の 単価表等の数量基準 を参照ください。



4.5 施工P条件 初期値

施工パッケージの計算条件の初期値を設定します。

編集する場合は、最初に施工パッケージ条件初期値設定画面上部の 積算体系・県・発注者・資料 / 適用年月 をクリックして表示される画面より該当項目を設定後、表示される施工パッケージの計算条件の項目値を修正してください。

注釈: 資料 / 適用年月 では 国土交通省 / 防衛省 / 空港土木 / 鉄道・運輸機構 / 首都高速道路 のいずれの施工パッケージの初期値を編集するかを設定します。

注釈: システム設定画面からの設定については、システム設定ドキュメント内の 歩掛選択時に施工パッケージ歩掛を選択する を参照ください。

No.	設定項目	項目値	項目の説明
1	ダンプトラック損料のタイヤ消耗費		ダンプトラック損料にタイヤ消耗費を含めるか含めないかを選択。
2	基準	(既定値=含む)	東京基準について選択。
3	積算用	(既定値=含む)	積算用について選択。
4	セメント（アンカー工）の計上方法	(既定値)	アンカー工のグラウト注入工でのセメントの計上方法を選択。
5	アスコン材料の選択方法	(既定値)	アスコン材料の選択方法を選択。
6	アスファルト舗装工	(既定値)	アスファルト舗装工（基層・中間層・表層）の場合。
7	排水性アスファルト舗装工	(既定値)	排水性アスファルト舗装工の場合。
8	アスファルト乳剤の単位	(既定値)	アスファルト乳剤の単位を選択。
9	タックコート・プライムコート	(既定値)	アスファルト舗装工・路盤工の場合。
10	ゴム入りアスファルト乳剤	(既定値)	排水性アスファルト舗装工の場合。
11	排水構造物工の材料計上方法	(既定値)	排水構造物工の材料計上方法を選択。
12	鉄筋コンクリート台付管	(既定値)	鉄筋コンクリート台付管の場合。
13	マンホール一式	(既定値)	プレキャストマンホールの場合。
14	基準単価の丸め方	(既定値)	東京基準単価に数量を掛ける場合や複数単価の合計の場合の丸め方を選択。
15	歩車道・地先境界ブロックの各種	(既定値)	ブロックの単価×換算数量の丸め方
16	安定処理の固化材	(既定値)	固化材の単価×標準数量の丸め方
17	粉体噴射攪拌の改良材	(既定値)	改良材の単価×標準数量の丸め方
18	路盤工の材料	(既定値)	砕石等の材料単価×標準厚さmmの丸め方
19	アスファルト舗装工の材料	(既定値)	アスコン材料の単価×標準厚さmmの丸め方
20	半たわみ性舗装工の材料	(既定値)	浸透用メントミメ×標準数量の丸め方
21	電線共同溝のさや管（標準以外の組合せ）	(既定値)	さや管の単価×標準条数の丸め方
22	プレキャストマンホール	(既定値)	マンホール一式（6個の単価の合計）の丸め方
23	ポーリンググラウト注入	(既定値)	注入材各種配合（4種の材料の合計）の丸め方

4.6 日当たり施工量 対応

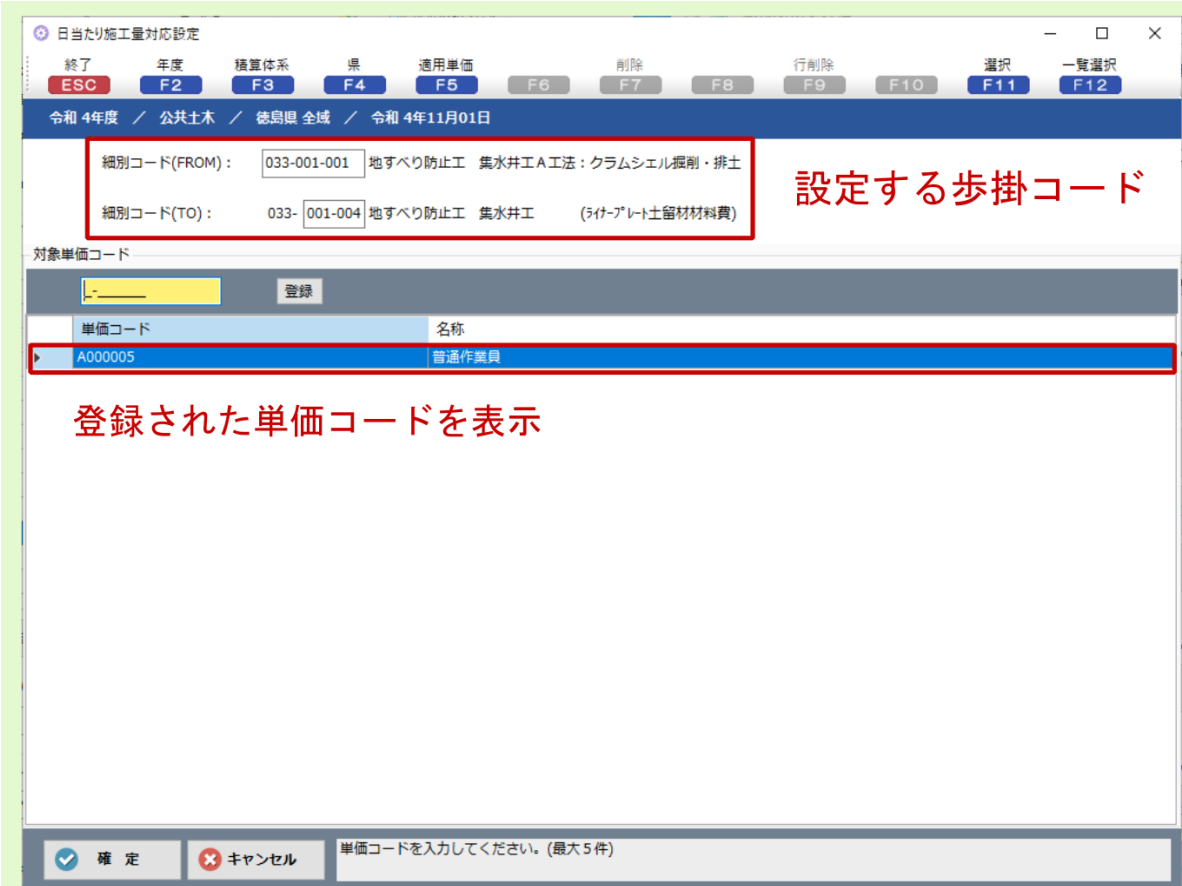
歩掛データの 日当たり施工量 / 施工日数 を算出する方法の内、代価内の単価データの数量を基に算出する方法に対して対象単価データの設定をします。

日当たり施工量対応設定 画面上部の 年度・積算体系・県・適用単価 をクリックして、それぞれ表示される画面にて設定を行った後、設定する歩掛コードの範囲を指定し、対象とする単価コードを設定してください。

注釈：適用単価 を選択しますが、設定時に単価データを参照するためのもので、県 単位で設定されます。

注釈：同じ歩掛コードが全県と各県の両方に設定されている場合、県の設定が優先されます。

注釈：施工量 / 日数については、内訳編集 内の 施工量 / 日 を参照ください。



日当たり施工量対応設定

終了 ESC 年度 F2 積算体系 F3 県 F4 適用単価 F5 削除 F7 行削除 F9 選択 F11 一覧選択 F12

令和 4年度 / 公共土木 / 徳島県 全域 / 令和 4年11月01日

細別コード(FROM): 033-001-001 地すべり防止工 集水井工 A 工法: クラムシエル掘削・排土

細別コード(TO): 033-001-004 地すべり防止工 集水井工 (ライフプレート土留材材料費)

設定する歩掛コード

対象単価コード

単価コード	名称
A000005	普通作業員

登録された単価コードを表示

確定 キャンセル 単価コードを入力してください。(最大5件)

4.7 亜熱帯補正

亜熱帯補正データの登録や削除、補正対象となる条件の設定等を行えます。

注釈: 適用単価 を選択しますが、設定時に単価データを参照するためのもので、県 単位で設定されます。

注釈: 亜熱帯補正については、土木積算・システム設定ドキュメント内の [亜熱帯補正をする](#) を参照ください。

The screenshot shows the Moobius R Maintenance interface. The 'メンテナンス' (Maintenance) menu is highlighted in the top navigation bar. The '亜熱帯補正' (Subtropical Correction) option is selected in the '各種設定' (Various Settings) section. The '補正対象データの設定' (Correction Target Data Settings) window is open, showing the '単価コード' (Unit Code) set to 'R-000750' and the '分類' (Classification) set to 'ステンレス溶接工' (Stainless Steel Welding). The '補正' (Correction) checkbox is checked. The '補正の条件設定' (Correction Condition Settings) section shows the '単価コード' (Unit Code) selected. The '補正対象データ一覧' (Correction Target Data List) window is also open, showing a list of correction data with the row for 'R000750' and '091076001' highlighted.

補正対象データの設定

補正の条件設定

補正対象データ一覧

対象コード	統括コード	補正	名称1	名称2	名称3
R000700	00000000	有	橋梁RC工		
R000710	00000000	有	舗装工		
R000720	00000000	有	吹付工		
R000740	00000000	有	助手		
R000750	091076001	有	ステンレス溶接工		
R000750	091076003	有	ステンレス溶接工		
R000810	00000000	有	操縦士		
R000992	00000000	有	通信技術員 (甲)		
R000993	00000000	有	通信技術員 (乙)		
R000994	00000000	有	通信工		
R009601	00000000	有	測量主任技師		
R009602	00000000	有	測量技師		
R009603	00000000	有	測量技師補		
R009604	00000000	有	測量助手		

4.7.1 亜熱帯補正対象データの登録

<p>1. 年度・積算体系・単価世代設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に補正対象データ（単価／歩掛）の歩掛年度 / 積算体系 / 単価世代を設定します。 ・現状の設定は画面上部に表示されていますので、確認ください。 ・設定を変更する場合は、画面上部の年度 (F2) / 積算体系 (F3) / 適用単価 (F5) をクリックして表示される選択肢より該当項目を選んでください。
<p>2. 補正対象データを指定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・補正対象データを指定します。 ・単価コード / 歩掛コードを選択後、表示欄に直接コードを入力するか、表示欄右の分類選択 ボタンを押して表示される選択画面より、該当単価 / 歩掛を選んでください。
<p>3. 登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・補正対象データ（単価／歩掛）を指定したら、画面左下の確定をクリックしてください。指定したデータが登録されます。
<p>4. 確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指定したデータが登録されているか確認するには、補正対象データのコード表示欄をクリック後、画面上部の一覧選択 (F12) をクリックしてください。登録されている補正対象データが一覧表示されます。

**対象データの
歩掛年度・積算体系・単価世代
を設定**

対象データ表示欄を選択後
画面上部の一覧選択をクリックすると
登録データが一覧表示される

対象コード	積込コード	補正	名称1	名称2	名称3
R000010	000000000	有	特殊作業員		
R000020	000000000	有	普通作業員		
R000030	000000000	有	軽作業員		
R000040	000000000	有	造園工		
R000050	000000000	有	法園工		
R000060	000000000	有	とび工		
R000070	000000000	有	石工		
R000080	000000000	有	ブロック工		
R000090	000000000	有	鉄筋工		
R000100	000000000	有	鉄骨工		
R000110	000000000	有	塗装工		
R000120	000000000	有	溶接工		
R000130	000000000	有			

補正対象データ(単価/歩掛)を指定

確定を押すと
指定したデータが
補正対象に登録される

4.7.2 亜熱帯補正対象データの削除

1. 年度・積算体系・単価世代設定	<ul style="list-style-type: none">・最初に補正対象データ（単価 / 歩掛）の 歩掛年度 / 積算体系 / 単価世代 を設定します。・現状の設定は画面上部に表示されていますので、確認ください。・設定を変更する場合は、画面上部の年度 (F2) / 積算体系 (F3) / 適用単価 (F5) をクリックして表示される選択肢より該当項目を選んでください。
2. 削除するデータを指定	<ul style="list-style-type: none">・削除する補正対象データを指定します。・対象データの 単価 / 歩掛コード表示欄 をクリックして編集状態にした後、画面上部右端の 一覧選択 (F12) を選んで表示される一覧画面より、該当データを選択後、画面右下の 確定 をクリックしてください。
3. 削除	<ul style="list-style-type: none">・削除するデータが、表示欄に反映されるので、画面上部の 削除 (F7) をクリックし、確認画面で はい を選んでください。補正対象一覧から該当データが削除されます。

対象データコード表示欄クリック後
一覧選択(F12)を選択

対象コード	対応コード	補正	名称1	名称2	名称3
R000010	00000000	有	特殊作業員		
R000020	00000000	有	普通作業員		
R000030	00000000	有	経作員		
R000040	00000000	有	造園工		
R000050	00000000	有	造園工		
R000060	00000000	有	造園工		
R000070	00000000	有	造園工		
R000080	00000000	有	造園工		
R000090	00000000	有	造園工		
R000100	00000000	有	造園工		
R000110	00000000	有	造園工		
R000120	00000000	有	造園工		
R000130	00000000	有	造園工		
R000131	00000000	有	造園工		

対象データ一覧より
削除対象データを選択後
画面右下の確定をクリック

指定したデータが表示されたら
画面上部の削除(F7)を選択

確認画面で
「はい」を選択

確認画面のメッセージ:
 ？ 確認
 編集中の至熱帯補正設定データを完全削除します。
 よろしいですか？
 はい いいえ

4.7.3 補正条件の設定

登録した補正対象データについて、どの歩掛に含まれていた場合に（絞り込み歩掛コード）補正を掛ける / 掛けないという条件を設定できます。

以下手順で補正条件を設定してください。

注釈：絞り込み歩掛コードの補正を有にすると、絞り込みに含まれない補正対象データは補正無になります。

注釈：絞り込み歩掛コードの補正を無にすると、絞り込みに含まれない補正対象データは補正有になります。

<p>1. 年度・積算体系・単価世代設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に補正対象データ（単価／歩掛）の歩掛年度／積算体系／単価世代を設定します。 ・現状の設定は画面上部に表示されていますので、確認ください。 ・設定を変更する場合は、画面上部の年度 (F2) / 積算体系 (F3) / 適用単価 (F5) をクリックして表示される選択肢より該当項目を選んでください。
<p>2. 補正対象データを指定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・条件を設定する補正対象データを指定します。 ・新規に補正対象データを登録する場合は、単価コード／歩掛コードを指定した後、コード表示欄に直入力するか、分類選択より該当データを選んでください。 ・既に補正対象データが登録されている場合は、対象データの単価／歩掛コード表示欄をクリックして編集状態にした後、画面上部右端の一覧選択 (F12) を選んで表示される一覧画面より、該当データを選択後、画面右下の確定をクリックしてください。
<p>3. 絞り込み歩掛コード範囲指定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・条件を設定する補正対象データが表示欄に反映されたら、絞り込み歩掛コードを選択します。 ・絞り込み歩掛コード表示欄右の範囲指定欄 (FROM と TO) に対象とする絞り込み歩掛コードが含まれる範囲を指定した後、範囲指定欄右のアイコンをクリックしてください。
<p>4. 絞り込み歩掛コード指定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指定したコード範囲内の歩掛で、指定した補正対象データを含む歩掛が一覧表示されるので、該当データを選択後、確定をクリックしてください。
<p>5. 補正有無設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絞り込み歩掛コード欄に選択した歩掛が反映されたら、補正欄より、指定した歩掛に含まれる指定した補正対象データの補正有無を設定後、登録をクリックしてください。 ・画面下部の条件一覧に選択した絞り込み歩掛コードに関する補正条件が表示されます。 ・他に絞り込み歩掛コードによる補正条件がある場合は、同様の手順で条件を追加後、画面左下の確定をクリックしてください。

補正対象データ指定 **絞り込み歩掛コードの範囲を指定**

対象歩掛コード
 絞り込み歩掛コード: [] 絞り込みコード範囲検索: 000-000-000 ~ 030-999-999

構成検索 対象コード: R000020
 亜熱帯補正対象にする歩掛を選択してください

歩掛コード	工務名	種別名	種別名
002900001	サンゴ種掘削	発破掘削	発破掘削
022850001	円形空堀空枠設置	空堀 (設置)	D 75
022850002	円形空堀空枠設置	空堀 (設置)	D 90
022850003	円形空堀空枠設置	空堀 (設置)	D 100
022850004	円形空堀空枠設置	空堀 (設置)	D 125
022850005	円形空堀空枠設置	空堀 (設置)	D 150
022850006	円形空堀空枠設置	空堀 (設置)	D 175
022850007	円形空堀空枠設置	空堀 (設置)	D 200 (紙製)
022850008	円形空堀空枠設置	空堀 (設置)	D 200

指定したコード範囲内の歩掛で指定した補正対象データを含むものが一覧表示されるので該当データを選択

選択した絞り込み歩掛コード反映

絞り込み歩掛コード: 002-900-001 絞り込みコード範囲検索: 000-000-000 ~ 030-000-000

補正: [無] [登録]

指定した絞り込み歩掛コードに含まれる指定した補正対象データに対する補正の有無を設定

絞り込み歩掛コードの条件が登録される

歩掛コード	補正	名称1	名称2	名称3
002900001	無	サンゴ種掘削	発破掘削	発破掘削

追加したら「確定」

4.8 雑品計上 対象外設定

雑品計上時の丸め設定に対して、適用対象外とする歩掛を登録します。

注釈：雑品計上時の丸め設定については、土木積算・システム設定ドキュメント内の [雑品計上](#) を参照ください。

単価増減対応設定

終了 ESC 年度 F2 積算体系 F3 県 F4 適用単価 F5 削除 F7 一括設定 F12 作成するパターン F11

令和 3年度 / 公共土木 / 東京都 23区 / 令和 3年12月01日

パターンコード: 00000001 独自パターン

対応: パターンに含まれる単価の一覧

単価コード: R-000300

単価コード	単価名称	規格	単位
R000010	特殊作業員		人
R000020	普通作業員		人
R000200	トンネル作業員		人
R000300	潜水送気員		人

追加

確定 キャンセル 単価コードを入力してください。

索引

- あ
亜熱帯補正, 73
亜熱帯補正対象データの削除, 77
亜熱帯補正対象データの登録, 75
- か
外注業者, 28
各種設定内の項目, 64
- け
経費工種, 6
経費控除, 32
計算, 18
県別計算式, 19
- こ
工事情報 書き換え, 63
- さ
削除 (単価管理), 43
雑品計上 対象外設定, 82
- し
システム設定, 66
県別単価 対応, 68
資料本対応, 5
初期化 (独自 退避 / 復旧), 60
- す
数量基準まるめ 対象外設定, 70
- せ
施工 P 条件 初期値, 71
施工コード, 4
- そ
総合評価パターン, 33
- た
退避 (単価管理), 45
退避 (独自 退避 / 復旧), 55
大工種, 15
単価, 23
単価管理, 42
単価金額編集 (変動単価の打ち変え情報の編集), 27
単価増減 対応, 69
単価分類, 22
- て
データベース 最適化, 62
低入計算式, 7
- と
取り込み選択履歴 (表紙), 38
取込履歴, 52
特殊処理内の項目, 40
独自 退避 / 復旧, 53
独自複写 (独自単価複写), 24
- ね
年度移行処理, 49
- は
はじめに, 1
発注者, 8
発注者関連, 50
- ひ
日当たり施工量 対応, 72
- ふ
復旧 (単価管理), 47
復旧 (独自 退避 / 復旧), 57
歩掛, 16
- へ
別県復旧を行う, 59
- ほ
補正条件の設定, 79
- め
メンテナンス, 2
- ろ
ローカル解析履歴 (内訳), 39
労務割増方法, 34